



はばたく 2018

中小企業・小規模事業者 **300社** / 商店街 **30選**



北陸建工グループ(株式会社建工ホールディングス)

富山県滑川市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

不可能を可能にする鉄のスペシャリスト 「より正確に、より速く、より安く」をモットーに「100年続く企業」をめざす

- 日本海側屈指の大型加工機を導入し他社ができない付加価値の高い製品を製造している
- 資材調達から出荷までワンストップで行い、より正確に・より速く・より安くを心がけ製造を行っている
- 同業他社が不得手な製造技術に特化することで製品の優位性を高めている

企業基本情報

所在地	富山県滑川市安田 200-8
電話/FAX	076-476-0300/076-475-6264
URL	http://www.hokuriku-kenko.co.jp/
代表者	代表取締役社長 酒井 洋
設立	1992年
資本金	1,000万円
従業員数	260人



会社概要

1977年に設立された北陸建工(株)を中核とし、事業拡大とともに鉄板溶断事業を分社化した北陸熔断(株)、曲げ加工部門を分離独立した北陸鋼産(株)を設立。

グループ各社の技術連携により、資材調達から設計・材料加工・切断・曲げ・組立て・塗装・出荷までのワンストップサービスを提供している。また、同業他社が不得手、あるいは不可能な鋼構造物の製造技術に専門特化し、あらゆるニーズに対応している。

平成29年度富山県中小企業経営モデル企業指定。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 日本海側屈指の大型加工機を導入し付加価値の高い製品を製造

大型プレス機(1,400t)を活用し、12mの長さの鉄板を曲げ、大型の鉄塔を製作している。日本海側屈指の大型ショットブラストを活用し、鉄鋼製品の表面加工を実施している。最長13mまでの長物に対応できる孔明け加工機(オートボーラー)を導入し加工を実施している。工場は国土交通省Hグレード認定を受け、ISO9001・14001認証も取得し、品質の高い製品を製造している。



大型プレス機

▶▶▶ 資材調達から出荷までワンストップで行っている

グループ各社の連携と総合力により鉄鋼構造物製造において、資材調達から設計・材料加工・切断・曲げ・組立て・塗装・出荷までワンストップで行い、正確に・速く・安くをモットーに製造を行っている。生産拠点を新設(移転集約)し効率化を図っている。生産性向上に向けた各種設備投資の実施や生産管理システムによる効率化及びそれともなう労働時間の短縮を実現している。

グループ各社の財務部門を(株)建工ホールディングスに集約し一元管理により効率化を図っている。



レーザー切断機、大型ショットブラスト

▶▶▶ 同業他社が不得手な製造技術に特化し製品の優位性を確保

同業他社が不得手、あるいは不可能な鋼構造物の製造技術に専門特化しその技術力を活かし照明鉄塔の分野では国内シェア第1位、トンネル用型枠で第2位となっている。名古屋駅前に建つタワービルの特殊鉄鋼、プロ野球場の照明鉄塔など、全国の著名な建造物の建設に関わっている。

国土交通省Hグレード認定を受け、ISO9001・14001認証も取得し、品質の高い製品を安定して供給している。



建築に携わったタワービル

生産性向上

需要獲得

担い手確保

株式会社ウーケ (WOOKE Co.,Ltd.)

富山県下新川郡入善町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「おいしいお米をそのままパックごはんに
しました。富山から日本全国へ、そして世
界へお届けします」が企業理念

- 国内トップクラスの最新鋭の設備を有し、効率的な生産を可能としている
- 高品質な包装米飯の輸出に取り組み、中国をはじめとする各国で日本産包装米飯の市場を先導
- 厳しい品質管理により安全性も評価される高品質な無菌包装米飯を製造し、かつ低価格を実現している

企業基本情報

所在地	富山県下新川郡入善町下飯野 232 番地の 5
電話 / FAX	0765-76-0023/0765-76-0046
U R L	http://www.wooke.co.jp/
代表者	代表取締役社長 舩木 秀邦
設立	2007 年
資本金	30,000 万円
従業員数	96 人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

28 万食 / 1 日という卓越した製造能力を有する我が国トップクラスの無菌包装米飯の製造ならびに販売する企業。国内有数の良質米産地である富山県入善町に工場を有し、海外輸出も積極的に行っている。

我が国のコメ卸最大手、(株)神明の子会社であり、炊飯に適した軟水を使用して、お米本来の風味と栄養を活かし、美味しいお米を美味しく炊き上げている。

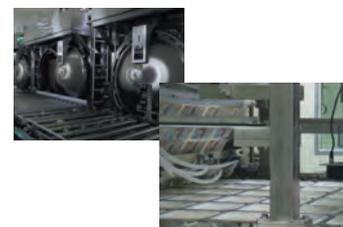


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

国内トップクラスの設備を有し、効率的な生産を実施

富山県入善町の工場は、1 ライン当たり 7,200 食 (年間約 40 百万食) 製造可能な無菌包装米飯 (パックごはん) 自動製造ラインを 2 ライン有しており、24 時間連続生産が可能な国内トップクラスの最新鋭の設備を有する工場である。東京、大阪、名古屋への距離もほぼ偏りが無く、工場には自動ラック倉庫と営業倉庫を併設し、物流の面においても顧客のニーズに応えられるよう、効率的な流れを実現している。



製造設備

中国をはじめとする各国で日本産包装米飯の市場を先導

2008 年より、無菌包装米飯 (原料: 主に富山県産米) の海外輸出に取り組んでいる。現在の輸出先は、中国、香港、EU 等。

2009 年 農林水産省『世界が認める輸出有望加工食品 40 選』に選ばれ、翌年には、国際味覚審査機構 (iTQi) 主催の『優秀味覚賞』に出品し、2 つ星を受賞。

ジェットロの推進する中国における包装米飯プロモーション事業においても、他社を圧倒的に上回る供給量で中国国内での日本産包装米飯の認知度向上に貢献した。



海外での取組

高品質な無菌包装米飯を製造し、かつ低価格を実現している

2010 年に無菌包装米飯業界で初めて国際認証規格 SQF2000 (現 SQF Code) を認証取得。日本名水百選に選ばれた北アルプスの天然水 (黒部川扇状地湧水群) を炊き水に使用。一食ずつトレー容器にお米を充填し、クリーンルームで真空加圧殺菌、蒸気炊飯、高温のまま密封シール、添加物不要の安全かつハイクオリティな製品を製造。

このような高品質な商品を製造しているにもかかわらず、中国市場の日本産包装米飯で最も低価格を実現している。



富山県産こしひかり

マイクロプロセス株式会社

石川県白山市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「こんな機械がほしい」に応える

製造・検査装置等を設計・製造する創造型・
開発型の装置メーカー

- 理論的な解析と観察により問題を解決し、オリジナリティの高い製造・検査装置を開発・製作
- 現社長のリーダーシップのもと先進的な装置製造を行い安定的な成長を継続。地域経済活性化に貢献
- 「先進的なオーダーメイドの産業ロボット」を製造。顧客企業の製造・検査工程を大幅に省人化・省力化

企業基本情報

所在地	石川県白山市中ノ郷町 147 番地 1
電話 / FAX	076-272-5000/076-272-7400
U R L	http://www.microprocess.jp/
代表者	代表取締役社長 宮岸 喜幸
設立	2001年
資本金	1,000万円
従業員数	31人



会社概要

電子部品や機械部品の組立・加工・検査装置を始めとする各種機械装置を製造。オーダーメイド生産で、ユーザーから示される仕様やニーズをもとに 1 台 1 台設計・製作をしている。

困難な課題でもあきらめずに理論的な解析と観察により、粘り強く取り組み問題解決。日本を代表する大手メーカーとも多数の取引。大手メーカーからは、「石川県でこんな装置を作ることができるとは思っていなかった」との声も。

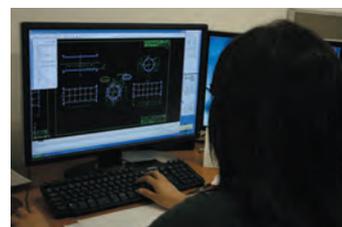


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 困難な課題でも理論的な解析と観察により問題解決

解決困難と思われるニーズにも果敢に挑戦。問題を解決し革新性のある製品を開発している。例えば、極小製品を扱うピックアンドトレイ装置の開発。眼科の手術に用いる製品の量産を目指す海外メーカーから、長さ 1 ミリ、直径 120 ミクロンと虫眼鏡で見なければ形もわからないような極小製品をピックアップして整列させトレイに並べる装置の引き合いがあり、理論的な解析と観察を何度も繰り返した末に完成。同製品の量産化・商品化に貢献。



AUTOCAD を用い図面を作成

▶▶▶ 先進的な装置製造を行い地域経済活性化に貢献

2001 年に現社長と設計者 3 名で創業。その後、現社長のリーダーシップにより受注や人材の獲得、先進的な装置の製造に奮闘を重ねて業容を拡大。今は、30 名程度の従業員の雇用や地域企業への外注などにより地域経済の活性化に貢献。社長のモットーは、「常識にとらわれずリスクに挑戦」、「失敗を恐れず変化に即座に対応」、「少数精鋭」。世の中の変化が激しく、これらのことを常に意識していないと、ついていけなくなってしまうためである。



従業員との打ち合わせ

▶▶▶ オーダーメイドの産業ロボットで顧客企業の工程を省力化

人の手に頼っていた検査工程を完全自動化するなど顧客の工場内の効率化を推進。例えば、エアコン製造のための特殊な金属部品の検査装置を開発・製造。それまでは、作業員が行っていた「ノギスで高さを測定、ルーペで傷を確認、機械操作で荷重チェック」をまとめて完全自動化。終業時に仕掛けておけば、翌朝には 4,500 個程度（7.5 個 / 1 分 × 60 分 × 10 時間）の部品の検査が完了。まさに、高度な機能を有する産業ロボットを開発・製造。



自動基盤マウント装置

生産性向上

需要獲得

担い手確保

丹羽鑄造株式会社

岐阜県関市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

IT を駆使した生産管理とタイムリーな生産実績を収集。作業ポイントが見える化し、自動化・省人化を実現

- IT を駆使して生産性向上を図り、鑄物業界内で先導的に自動化・省人化を実現
- 生産情報と財務情報を一元的に管理した独自システムを構築し、業務効率化を実現
- 短納期化、需要拡大に対応するため海外市場への展開を積極的に進めている

企業基本情報

所在地	岐阜県関市のぞみヶ丘 11-1
電話/FAX	0575-21-6028/0575-21-6031
URL	http://niwachuzo.co.jp/
代表者	代表取締役社長 丹羽 龍
設立	1960年
資本金	2,800万円
従業員数	125人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

同社は油圧関連部品の鑄物メーカー。内部構造が精密で複雑な小物部品（1～5kg程度）の製造を強みとする。同社の油圧機器用鑄物は、最終製品として建機、農機、自動車、一般機械等、幅広く使用されている。職人的なイメージの鑄造業からの脱皮を目指し、「設備・人材・ITシステム」を3本柱として改善を推し進め、「付加価値と難易度の高い製品への特化」、「検査の充実による高品質の確保」、「安定経営のための売上シェアの分散」を実現し、継続的な売上、利益拡大を実現。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

IT を駆使して生産性向上を図り、業界内で省人化を先導

独自のコンピューターシステムを早くから導入し、生産ラインにおいて、製品情報のほか、作業ポイントの見える化と技術の蓄積に取り組んでいる。日々のデータは品質管理だけでなく、生産実績や製品の仕掛状況、在庫状況にも活用しており、受注量の変化等にも柔軟に対応できる体制を構築している。また、省人化、自動化に対応している独自の仕様にカスタマイズした鑄造ラインを導入しており、安定的かつ高品質な製品の提供を実現させている。



システム概要

独自システムを構築し、業務効率化を実現

同社では生産現場におけるデータの見える化に加え、経営指標・経理・財務情報などを一元管理している。具体的には「NTS業務管理 (NIWA TOTAL SYSTEM)」と名付けたシステムを活用し、受注、仕入れ、生産計画、作業標準、入金、支払いまでのすべてのプロセスを一元処理、管理できる体制を構築。経営者の率直的な取組を通じて、社内にも積極的にITシステムを活用する意識が醸成され、ITをツールとして最大限活用し、業務効率化に繋がっている。



自動注湯機

短納期化、需要拡大にも対応可能な海外市場への展開

2016年1月、東南アジア全体の需要をカバーしていくための新たな生産拠点として、ベトナム工場の操業を開始。取引先の現地調達への対応、現地企業向けの短納期への対応を図るため、東南アジアの生産拠点としてベトナムへの海外展開を実施。自動車分野等の特定メーカーに依存しないで、幅広い産業分野におけるメーカーと取引を実施。また複雑形状の小物部品で、各メーカーの現地調達率の向上に寄与している。既にベトナム、タイ、インドネシアの日系メーカーとの取引が始まっている。



自動化鑄造ライン

株式会社加藤製作所

岐阜県各務原市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

中小企業等 10 社による、IoT を活用した航空機部品一貫生産（松阪クラスター）を通じた生産性向上

- 10 社が自動車産業の手法や IT を駆使し、同一建屋内で協業するスマート工場として生産性を向上
- 各社の固有技術をつなぐ一貫生産を通じ、リードタイム短縮、コスト低減につなげ海外受注獲得を目指す
- 広範な人的ネットワーク・長年の経験を活かし、企業 10 社による連携においてリーダーシップを発揮

企業基本情報

所在地	岐阜県各務原市各務東町 5 丁目 82 番地の 20
電話 / FAX	058-379-0111 / 058-370-1093
URL	http://www.katoseisakusho.co.jp/index.html
代表者	代表取締役 加藤 隆司
設立	1947 年
資本金	1,000 万円
従業員数	121 人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

航空宇宙機器部品の機械加工を主力業務とし、高い技術、豊富な経験を活かし、高品質、低コスト、納期厳守で顧客のニーズに長年応えてきた中、国内航空機産業特有の非効率な部品生産体制（ノコギリ型発注）からの脱却を目指した松阪クラスター立上げでは、中核企業として、異なる強みを持った企業 9 社とともに、機械加工から表面処理、品質検査などを同一建屋内で完結させる、効率的な一貫生産体制の構築にリーダーシップを発揮。



松阪クラスター竣工式の様子

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

自動車産業の手法や IT を活用したスマート工場による連携

同社を代表とする松阪クラスターでは、参画企業 10 社がそれぞれの高い技術力を活かし、機械加工から表面処理、検査工程まで、会社間を跨る「工程」のライン化を構築している。自動車産業で培われた生産手法の展開を始め、従来のノコギリ型の形態から、各社が一箇所に集まり、統合生産管理システム構築を通じ、生産工程の集約化、効率化を図り、リードタイムを約 60 日から最短 5 日に短縮するほか、コスト削減に繋がる取組であり、国内航空機産業界への波及効果が期待されている。



一貫生産体制のイメージ図

一貫生産体制構築によるリードタイム短縮、コスト低減

日本の航空機業界では、各重工メーカーがサプライヤーに対し単工程の発注を行い、両者の間を行ったり来たりを繰り返すノコギリ型の形態がとられてきた。本取組では異なる強みを持った企業 10 社が組合を設立、同じ工場建屋内に集まり、受発注 EDI システム、統合生産管理システムの構築により、加工から表面処理、塗装、検査までの一貫生産体制を整え、海外受注も視野に従来のリードタイム約 60 日から最短 5 日に短縮するほか、コスト低減にもつなげるビジネスモデルを構築。



大型マシニングによる NC 加工の様子

業界で培ってきた人脈と経験を活かしプロジェクトを先導

航空機部品生産協同組合の理事長でもある同社代表は、大手重工の取引企業を中心とする川崎岐阜協同組合の設立メンバーであるほか、大手企業のサプライヤー関連組織への参画などにより、広範な人的ネットワークを培ってきた。こうした人脈や豊富な経験が、松阪クラスター体制構築に当たって根幹となる生産管理、品質保証業務など広汎にわたる各種調整、マネジメントなど、愛知・岐阜を中心とした企業 10 社による円滑な組合運営につながった。



主要加工製品の一部

株式会社イハラ合成

愛知県名古屋市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

プラスチックのリサイクル品から新たな機能性素材や付加価値製品を創製し、地球環境にやさしい社会づくりをめざす企業

- 海外輸出による市場展開を積極的に行っている。また、国際特許出願も行い、国際競争力も有している
- エンブラに特化したリサイクルを行い、再生プラスチックの特性を上げる研究開発を進めている
- リサイクルペレットによる製品開発を行い、持続的に収益につながるビジネスモデルを構築している

企業基本情報

所在地	愛知県名古屋市昭和区白金 3-2-26
電話/FAX	052-882-1838/052-883-3461
URL	http://www.ihara.co.jp
代表者	代表取締役 伊原 歳博
設立	1975年
資本金	1,000万円
従業員数	13人



会社概要

1975年に再生プラスチック回収加工販売を行う伊原商店として創業。1978年からは粉碎加工ができる設備を導入し、エンジニアリングプラスチック（耐熱性や強度に優れた工業用プラスチック）の取扱いを開始。環境保全、廃棄物からの付加価値製品製造技術への取組、女性も働きやすい職場作りを進めるとともに、再生プラスチックの高性能化などの研究開発を大学や公的研究機関等との共同研究により継続的に実施している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 国際特許出願により、海外ビジネスへの卓越した取組

自動車部品などから再生したリサイクルペレットを韓国に約50t/月、台湾に約25t/月輸出し、積極的に市場を展開している。またタイからは粗原料を約15t/月輸入している。これらの国々でも自動車の軽量化に向けて繊維強化プラスチック（FRP）の使用量、廃棄量が増え、有効なマテリアルリサイクル技術が必要になるとの経営判断から、FRP廃材の再利用新技術を開発し、国際特許出願を行う等、アジア諸国の発展を見据えた取組を行い、国際競争力拡大に努めている。



品質の安定した原料の貿易

▶▶▶ エンブラに特化した革新性リサイクル技術

ガラス繊維入りも含んだインサート品（金属等と一体化した部品）を有償で引き取り、リサイクルを行っている。早くから選別の機器を導入したことにより、インサート品の引き取りが可能となったことが強み。再生プラスチックの特性を上げる工夫もしており、再生品の品質を上げ、且つ加えるバージン材を減らすための研究開発を進めている。また、エンブラ（耐熱性や強度に優れた工業用プラスチック）に特化したリサイクルを行っている。エンブラに特化した企業は国内でも数社を数える程少ない。



ガラス繊維強化プラスチック製
自動車部品

リサイクルに使用している自動車部品

▶▶▶ 不良品のリサイクルによるビジネスモデルの構築

今後、自動車の軽量化に伴うプラスチック成形不良品の処理は急務である。再生困難とされるガラス繊維強化樹脂不良品を再生ペレット化し、さらに配向ガラス繊維入り線材とし、その特性を活かしてバリ取り用ブラシを創製した。本例は従来市場にはない製品開発の取組で、廃棄ルートが明確なプラスチックリサイクルに特化したビジネスモデルであり優位性がある。機能面・価格面で従来品を凌駕する本ブラシの需要は大幅増加が期待でき、持続的に収益につながる新しいビジネスが構想できる。



リサイクルペレットから製造される
再生線材の例

生産性向上

需要獲得

担い手確保

株式会社黒田精機製作所

愛知県名古屋市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「品質至上・・・良い品づくり、人づくり」
を経営理念に、世界中から信頼される良い
品づくりを目指す

- タイやメキシコなどへの現地法人設立による、海外市場の積極的な開拓
- 冷間鍛造、精密切削、精密研削、アルマイト、アセンブリまでの一貫生産による生産体制の優位性
- 国内外の大手自動車部品メーカーという安定性のある販路の確保による事業の優位性

企業基本情報

所在地	愛知県名古屋市瑞穂区桃園町4番地26号
電話/FAX	052-811-3106/052-821-3106
URL	http://www.kurota.com/
代表者	代表取締役社長 黒田 敏裕
設立	1925年
資本金	7,000万円
従業員数	240人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

自動車部品製造・販売事業を行い、主な製品はブレーキやエンジンのオイル回路に用いられるピストン及びスプールバルブ。ピストン及びバルブの製造ノウハウの蓄積や、アルミ製品の一貫生産体制等が強み。大手自動車メーカー系小型車種のドラムブレーキには、ほぼ100%黒田精機の製品が利用されている等取引先から継続受注を確保しており、強固な事業基盤を有している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 現地法人設立による、海外市場の開拓

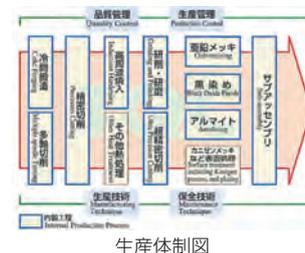
1996年にタイの合併事業に参画、2005年にはタイに100%出資の現地生産法人を設立。2012年には中国に販売会社を、2014年にはメキシコに現地生産法人を設立。タイ、メキシコ共にアルミ製品の冷間鍛造、精密切削、研削加工、アルマイトまでの一貫生産体制を構築、日系の大手自動車部品メーカーだけでなく海外の自動車部品メカサプライヤーとの取引で海外マーケットの拡大を捉えた事業展開を行っている。



上：メキシコ工場、下：タイ工場

▶▶▶ 一貫生産による生産体制の優位性

機械加工や表面処理の両方で高い技術レベルを持つ競合他社は稀有だが、同社は冷間鍛造、精密切削、精密研削、アルマイトなどの一貫生産体制という優れた生産技術を保有している。特に、高い加工精度が必要で、かつキズや打痕などを嫌うブレーキやエンジンの油圧回路の精密部品に適した生産体制を構築し、設備も一部は内製をしている。また、同じコンセプトで海外工場も生産体制を整備し、国内外で高品質な製品の生産を行っている。



▶▶▶ 安定性のある販路の確保による事業の優位性

自動車用ブレーキ・ピストンにおける国内シェアで圧倒的な割合を占める。特に、アルミ製部品の一貫生産体制による加工技術が日本の大手自動車部品メーカーだけでなく、世界最大手自動車部品メーカーにも採用され、ブレーキ・ピストンやエンジン部品を国内外の工場で生産し、多数の得意先から国内外の自動車メーカーに供給している。高い技術力と共に、TS16949認証取得など品質管理能力を評価され事業を拡大している。



主要生産製品

余合ホーム&モビリティ株式会社

愛知県名古屋市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

住まい(ホーム)から移動空間(モビリティ)までをトータル・コーディネートするメーカーへのパラダイムシフトを実現中

- 次世代の異分野市場への進出のための研究開発が、商品開発力向上にも役立つというシナジー効果を創出
- 中小機構のハンズオン支援を契機として「町工場」から「工場」への進化に成功した
- 大手メーカーと新事業のコンセプト作り段階から協業し、シームレスな連携に取り組んでいる

企業基本情報

所在地	愛知県名古屋市中川区八熊通 5-34
電話/FAX	052-352-3331/052-352-3337
URL	http://www.yogohm.com
代表者	代表取締役 余合 繁一
設立	1938年
資本金	1,000万円
従業員数	52人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

同社は、1938年の創業以来、ドアヒンジや引き出しレール、ダンパー等の「動きのある金具」を中心に、斬新な商品を開発し、大手住宅設備会社の一次サプライヤーとして確固たる地位を築いてきた。事業拡大に伴い、国内製造会社の買収や中国（上海市）工場設立を進め、2011年には、社名を余合ホーム&モビリティ（株）に変更、従来の住宅設備事業（ホーム）に加え、次世代自動車（モビリティ）という成長分野にも乗り出した。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 異分野市場への進出開始が、「商品開発力」に火をつけた

国内での住宅設備市場の限界を認識し、今後の事業の大きな柱として、次世代自動車（EV等）の機能部品や制御部品事業に挑戦を開始したことで、社内DNAである「商品開発力」が覚醒。従来の住宅設備の新商品開発にも「飛び火」し、ドア調整金具や新型クローザー等のヒット商品を生む起爆剤となった。これらの高付加価値型新商品が、従来の大手顧客への売上増加や、新たに大手ハウスメーカーと取引開始など大きな成果に繋がり、数年間で30%ほどの売上増加となっている。



3方向調整可能なドアヒンジ

▶▶▶ 「町工場」から「工場」への脱皮によるパラダイムシフト

モビリティ（≡EV等次世代自動車）という異分野進出のシナジー効果として、従来の住宅設備商品（ホーム）の開発スピードも速くなり、多くの新商品がヒットし始め、売上が大幅に増加することになった。また中国生産拠点が、現地の人件費高騰で縮小され、国内生産回帰に対応する必要が出てきた。さらに、4年前から取り組んできた「生産工程や物流改善による業務の整流化」や「基幹系及び生産管理システム導入」等の改善成果が実り始め、効率的な生産状況を維持することが可能になった。



品番管理から位置管理

▶▶▶ 日本を代表する大企業と、シームレスに連携中

住まい（ホーム）と移動空間（モビリティ）を融合させた生活空間の創出を新しい事業領域として再定義した。また名古屋大学がコアとなって大手企業が連携する「高齢者が元気になるモビリティ社会」プロジェクトに唯一の中小企業として参画、大手メーカーと共に、次世代車椅子のコンセプト作りの段階から参加した。このように未来を見据えた取組を高めることで、住宅設備部品の新商品へのシナジー効果がもたらされ、数年で売上げが3割近く増加している。



名古屋大学発プロジェクト

株式会社アルマックス

愛知県名古屋市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

アルミ表面処理・機械加工業界において独自の技術でオンリーワンを目指す企業

- 表面処理加工のみならず、染色 + 機械加工 + アッセンブリ対応もワンストップで可能な点
- 中国蘇州現地法人にてカジュアル衣料品グローバル企業向け什器の大型受注獲得
- 自社開発の表面処理技術及び染色技術の高さを背景にした技術力・競争力により幅広い受注を獲得

企業基本情報

所在地	愛知県名古屋市緑区鳴海町山下 11
電話/FAX	052-892-5231/052-891-0671
URL	http://www.almax-japan.co.jp
代表者	代表取締役社長 山田 邦博
設立	1963年
資本金	7,200万円
従業員数	80人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

アルミ製品の表面処理、染色、機械加工を一貫して行う。鉄道車両内装、自動車内外装、産業用設備、幼児用遊具、店舗什器、室内装飾品、住宅内装設備等の幅広い分野で用いられるアルミ製品の加工・製造を行っている。一般的な表面処理だけでなく、独自に開発した化学研磨技術及び繊細な色を実現する染色技術並びに機械加工、アッセンブリまで可能な点に強みあり。



本社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 表面処理・染色 + 機械加工 + アッセンブリ対応もワンストップで可能

日本のアルマイト表面処理加工業者は弱電等小物中心に対応してきたが、中国企業等の技術力向上を主因に国内生産額は縮小。同社は厳しい競争を生き抜くため、早い段階より脱弱電、脱建材を掲げ注力した結果、現在、少量多品種短納期を実現可能となった。あわせて、アルマイト加工のみでは付加価値として乏しいことから、染色 + 機械加工 + アッセンブリ対応も可能な体制を作りあげたことが取引先から評価され、受注規模を維持継続。



長尺材に対応可能な全自動アルマイトライン

▶▶▶ 中国蘇州現地法人にて衣料品グローバル企業向け什器の大型受注獲得

アルミ表面処理加工に加え、機械加工技術においてユーザーより高い評価を得ており、日本有数のカジュアル衣料品製造販売企業の商品棚用アルミ製部材製造のオーダーを受注した。具体的には、今後、同社の海外店舗用商品棚の部材を中国蘇州現地法人において製造する。オーダーに対応すべく 2017年7月にアルミ部材の機械加工に係る専用設備を日本より輸出し、生産能力を増強。現地工場の従来比 1/20 の時間での大量加工が可能となった。



中国（江蘇省蘇州市）現地法人

▶▶▶ 高い競争力を背景に、幅広いアルミ製品の加工が可能

表面処理加工のみでは付加価値として乏しいことから、独自開発の化学研磨・染色 + 機械加工 + アッセンブリ対応も可能。特に独自開発の化学研磨技術及び高い染色技術に優位性がある。ワンストップでの受注が可能であることから鉄道車両内装、自動車内外装、産業用設備、幼児用遊具、店舗什器、室内装飾品、住宅内装設備等と幅広い業界より受注を獲得しており、同業他社に比べ明らかに高い競争力を有している。



化学研磨・染色

ポイント 顧客の声に耳を傾け、何事にもまずチャレンジし、「常に進化し続ける」精神で新商品を開発

- 災害時、迅速なライフライン復旧を可能にする災害対策用製品の開発
- 利用者目線にこだわり、機能性・効率性を高めた資源回収用コンテナ等の製品開発
- 生活を支える製品の製造により、我が国固有のリスクである大規模災害からライフラインを守る

企業基本情報

所在地	愛知県豊川市三上町西六盃 50
電話/FAX	0532-88-5811/0532-88-5812
URL	http://www.tumuzo.com.
代表者	代表取締役会長 吉川 弘國
設立	1988年
資本金	1,000万円
従業員数	130人



会社概要

産業廃棄物用輸送コンテナの製造を中心に、同社オリジナル商品である本体のみで単独稼働を可能にしたプレスコンテナ、そして脱着装置、塵芥車の開発・販売。また災害時いち早くライフラインを確保するため、4t脱着車のみで運搬ができ、すばやく設置・使用を可能にした仮設トイレをはじめ、災害対策シリーズコンテナの製造・販売を行っている。さらに子供からお年寄りまで野菜作りを楽しめる大型プランターも販売している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 災害時、ライフラインを素早く確保するための製品の開発

同社コンテナや仮設トイレは全製品が脱着車のみでの運搬ができ、わずか数分で設置・使用が可能であり、災害対策用製品として注目を浴びている。

例えば、マンホール直下型トイレは緊急時の仮設トイレとして国土交通省認定も受けている他、シャワー室付トイレや男女別トイレ、バリアフリー型仮設トイレも開発・供給しており、災害時ライフラインとして期待されている。



簡易シャワー

▶▶▶ 利用者目線に徹底的にこだわった商品開発

「生活関連」を同社事業領域として捉え、資源回収用コンテナ、特に古紙回収に適したコンテナを製造、利用者目線に徹底的にこだわり、ユーザーに選ばれる商品開発を徹底した結果、業界 No.1 の地位を確立。

また、業界初の4tトラック1車で、2t車用コンテナ、4t車用コンテナを運搬・設置・回収が可能な装置を開発。人材確保が難しい企業、車両維持費等のコストを問題としている企業への助力になればと考えている。



スタンダードコンテナ

▶▶▶ 生活関連が同社の事業領域であり、ライフライン確保へも貢献

同社製品は「生活関連」の事業領域を逸脱せず、ニーズの耐えない製品開発・販売に特化している。生産活動の結果、産業廃棄物は必ず生まれることから、同社製品の需要必然的に発生する。

また我が国固有のリスクとして大規模災害が想定されるが、災害発生時には迅速・用意に運搬・設置が可能な同社製品が、国民生活のライフライン確保に大きく貢献するものと自負している。



災害対策用コンテナ

ポイント

「品質第一の精密機械加工を提供し、お客様の信頼を得、かつ地球環境の保全と社会に貢献する会社」を目指す企業

- 従来の測定結果の手書き記録からデジタル式マイクロメータに代替するIT化によりデータを一元管理
- 複数の加工機間を自動搬送するシステムや、組み立てと検査の工程を統合したインデックスマシンを内製
- 加工条件の管理、工具の選定、治具の開発・設計等により、超精密加工の量産が特長

企業基本情報

所在地	愛知県津島市鹿伏兎町西清水 47
電話/FAX	0567-33-2311/0567-32-0900
URL	http://meikoseiki-ltd.co.jp
代表者	代表取締役 松原 光作
設立	2002年
資本金	3,000万円
従業員数	300人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

超精密切削加工メーカー。超精密加工の量産（月産 600 万個）を得意とし、A/T 制御用リニアソレノイド部品では 2016 年度も世界のトップシェア。創業 15 年強で売上高 136 億円を超える成長。さまざまな分野に携わる開発力、超精密加工を機械化できる技術力、自社開発の自動検査ラインと女性中心で構成する検査部門で維持されるクオリティで、高い評価を得ている。一方、海外へのグローバル展開も合併会社設立や M & A で事業譲渡を受けるなどを積極的に進めている。



オートマチックトランスミッションと搭載されている当社製品

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 測定を手作業からデジタル式に代替し、固定費削減、品質向上

製品の品質管理において、従来の測定結果の手書き記録から測定器のデータをパソコンへの直接入力に切替えることで、入力ミス・漏れ、入力時間等を削減すると共に、これらのデータを一元管理し社内ネットワークを介して各部門に情報展開している。そうすることで各部門は日々の品質状況を把握し速やかに改善すると共に、データ分析を行って品質指標を明確にして改善活動に結び付けている。このような緻密な品質管理を日々実施することで、同社の強みである超精密切削加工技術の向上を図っている。



測定データをパソコンへ直接入力

▶▶▶ 工程の自動化を積極的に進めて業務を効率化

リニアソレノイド部品の加工ラインは、素材のライン搬入から加工・検査・洗浄・箱詰めまでの全工程を自動化し徹底した省人化を図っている。加工工程では独自の特許工法を駆使した加工機と治具を採用、重要寸法箇所は加工後計測工程を設けて良品のみ後工程へ、加工終了後には自社設計・製作の洗浄工程を経た後製品の箱詰めを実施。これらの工程間は自動搬送装置で連結し全自動ラインとしている。この他にも組立と検査工程を統合したインデックスマシンを内製化し自動化を実現している。



自動搬送システムを搭載して複数の加工行程を連結

▶▶▶ 研磨レベルのミクロン単位の切削加工を月産 600 万個生産

超精密切削加工技術力を活かして A/T 制御用リニアソレノイド部品を生産。同部品は、車の速度に合わせトランスミッションの多段変速ギヤを最適なギヤ比に最適制御するものであり、ミクロン単位の精度が必要。そのために独自の加工ライン、加工条件・切削工具の設定と管理、治具の開発・設計等により、切削加工において研磨レベルのミクロン単位での加工を可能とした。主力製品のスリーブとコアの加工方法は特許を取得するなど、独自の製造方法開発にも注力している。



ミクロン単位での切削加工を行った製品群

株式会社キラ・コーポレーション

愛知県西尾市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「世界中のお客様に喜ばれるために。「切削加工自動化ライン」の提供により、未来に向かってはばたく“KIRA”を目指す

- カスタマイズを武器に「切削加工自動化ライン」の提供による付加価値向上に対する取組
- 丁寧なフォローと十分なアフターフォローの徹底による海外需要の獲得に対する取組
- 海外展開を視野に入れた幅広い「ものづくり人財」の育成に対する取組

企業基本情報

所在地	愛知県西尾市吉良町富好新田中川並39番地1
電話/FAX	0563-32-0100/0563-32-3241
URL	http://www.kiracorp.co.jp
代表者	代表取締役 大竹 健二
設立	1944年
資本金	7,501万円
従業員数	139人



会社概要

同社は約60年前に初めて国産ボール盤を設計、製造、販売して以来、熟練の技能と多くの技術、ノウハウを蓄積してきた。

近年では自動車部品メーカーから高性能マシニングセンタの設計、製造、販売を手掛け、加工機単体だけではなく、治具や搬送設備等を統合した「切削加工自動化ライン」の提案を行うことで、多様化した顧客ニーズに対応している。



建屋と社員の集合写真

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶「切削加工自動化ライン」の提供による付加価値向上

国内及び海外の自動車部品メーカーをターゲットとして、自動車部品のような、ある一定の市場に対して、顧客の生産ラインに即座に組み込める形にまで個別対応することで、顧客の要求に基づいた一品一様の工作機械を供給している。売上全体の64%が「オーダーメイド製品」であり、大手企業では対応できない細やかなカスタマイズを武器に、「オンリーワン」の工作機械を設計、製作することで他社との差別化を行い、付加価値の向上を図っている。



顧客ニーズに合わせてカスタマイズした切削加工自動化ライン

▶▶▶丁寧なフォローと十分なアフターフォローの徹底

アメリカ、タイ、中国に設立した現地法人により、自動化ラインを止めない定期点検、機械の故障に対する迅速な対応が可能なサービス拠点を設置している。また新興国であるインドネシア、ベトナム、タイではボール盤の製造、販売の受注が見込めるため、製造販売会社の設立を予定している。新興国では顧客密着型の現地窓口を持ち、現地ユーザーの技術レベルを十分に把握した上で技術ギャップに配慮した提案を行い、丁寧なフォローと十分なアフターフォローを徹底している。



アメリカ、タイ、中国の子会社

▶▶▶海外展開を視野に入れた「ものづくり人財」の育成

国内拠点として本社、東京、大阪、鹿児島との4ヵ所に営業所、研究所を有し、海外にもアメリカ、タイ、インドネシア、中国に拠点を有していることから、活躍フィールドは国内だけにとどまらず世界中にあり、語学力に優れた従業員の採用にも積極的である。また、愛知県西尾市は自動車産業の集積地であり、大手自動車メーカーが売上の95%を占めていること及び常に変化する市場ニーズに即応するため「ものづくり」に携わる技術者の採用に積極的であり、幅広い人財活用・人材育成を行っている。



技術部のメンバー。若手社員も活躍中

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ポイント

冷間鍛造と精密切削を併せ持ち、素材から完成品まで一貫生産。最適な加工法を設計段階から提案することで高評価獲得

- 冷間鍛造の高精度化と精密切削の最適組合せで低コストを追求
ワンストップで顧客のニーズに対応
- 効率化を追求する生産管理システム（TIE）による企業変革への挑戦
- 高機能化するセンサー部品加工に対応する新技術と、次世代工コカーへの応用

企業基本情報

所在地	愛知県西尾市下矢田町治部田 15 番地 1
電話 / FAX	0563-59-6810/0563-59-1018
U R L	http://www.shibatakk.com/company/
代表者	代表取締役 柴田 高広
設立	1959 年
資本金	2,800 万円
従業員数	145 人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

同社は、1968年に設立。燃料噴射圧、排気圧、ブレーキ圧、など、自動車制御で活用される各種センサー部品及びパワートレイン部品を中心に製造を行っている。冷間鍛造から精密切削加工までの製造および販売を行っており、高い技術でお客様から評価いただいている。徹底した品質保証と環境マネジメントシステムを設けており、ISO9001 認証、ISO14001 認証を取得している。



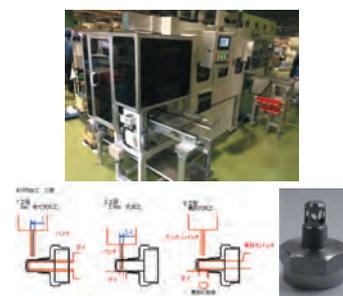
会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

冷間鍛造の高精度化と精密切削の最適組合せで低コスト追求

同社は素材検討から鍛造、切削、完成出荷まで一貫した生産体制を保有しており、鉄、ステンレス、アルミニウムなどの様々な金属製品に対応できる。最小限の材料で製品を形づくる冷間鍛造技術と、高精度な切削技術の両方を有する同社は、それぞれの美点を高いレベルで融合させ、高品質で付加価値の高い製品の量産を最小限のコストで実現している。

また、近年新たな塑性加工法（NIPPS 加工）を加えることにより、切削加工時間短縮、バリ取り廃止などの新たな加工技術を獲得し、生産性向上と高付加価値化を実現した。



NIPPS 加工

効率化を追求する TIE 手法導入による企業変革への挑戦

TIE（Total Industrial Engineering）手法の導入により生産の仕組みを改善。売れた（売れる）情報に合わせて生産することでムダを顕在化させ、生産性を向上した。生産管理システム導入により工数を低減することができた。

また、同社独自の IoT 技術を開発した。これにより設備異常への感度が向上し、スピーディーな対策の実施により、生産性が向上している。



社内製 IoT システム

高機能化するセンサー部品加工に対応する新技術

近年生産される自動車は、電子化が進展し、車載用の各種圧力センサー部品の高機能化が進んでおり、それに伴って高い寸法精度と清浄度を要求されている。特に製品の端面や穴の縁部分においては加工で発生するバリ（除去加工で取り切れなかった材料の一部が母材に残る現象）が脱落して車両の不具合の要因となるため完全な除去を求められている。同社では NIPPS 加工や CNC 旋盤内でのバリ除去加工を積極的に採用し、バリの無い製品を低コストで提供している。



CNC 旋盤内でのバリ取り加工及び製品

ポイント

日本の良き文化であるお茶を後世へ残す 全国有数の抹茶の産地「西尾」から世界へ はばたく独自ブランド「松鶴みどり」

- 独自技術を用いた「松鶴みどり」による付加価値向上、ブランド確立に対する取組
- GI登録された「西尾の抹茶」のPR活動による、インバウンド需要取り込みに対する取組
- 熱・光に対する退色に強い独自商品「松鶴みどり」の開発による、独自製品分野確立に対する取組

企業基本情報

所在地	愛知県西尾市上町南荒子 50 番地 2
電話 / FAX	0563-54-3300/0563-54-3332
U R L	http://www.shokakuen.jp
代表者	代表取締役 若杉 秀樹
設立	1956 年
資本金	1,000 万円
従業員数	15 人



会社概要

全国有数の抹茶の産地である「西尾」の地域特性を活かし、食品加工用抹茶の卸売に注力。同社売上の数十%程度を占める独自商品「松鶴みどり」により、競合他社との差別化を図っている。

同製品の開発に成功したことにより「松鶴みどり」ブランドを構築するとともに、商圏を拡大。同製品を使用する企業は大手食品メーカーから個人商店まで幅広い顧客層を保有しており、毎期安定した収益を上げる企業である。



会社施設

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

商圏の拡大、ブランド力の向上による付加価値の向上の取組

食品加工用抹茶が熱や光に対して、退色し、日持ちしないという課題があったものを、熱・光に対する退色に強い「松鶴みどり」という独自商品の開発に成功。この製品の開発により、同社の卸売上高は伸長しており、同社の売上比率の数十%程度を占めるまでになっている。この独自製品で他社との差別化は図られている。また国際認証の標準基準となりつつある FSSC22000 を取得予定である。現在、取引先は 5,000 社を数え、「松鶴みどり」ブランドの構築と商圏の拡大に寄与している。



松鶴みどり 抹茶ペースト写真

「西尾の抹茶」の PR 活動及びインバウンド効果

同社代表は組合法人西尾茶協同組合の理事を務め、全国各地へ「西尾の抹茶」の PR 活動を精力的に行い、愛知県からの引き合いもある。認知度向上に向けた取組として、地理的表示保護制度 (GI) の活用を軸に組織的な消費宣伝を国内外 (ミラノ万博など) で行い、茶産業の活性化を図っている。また、世界各地へ PR し、タイとマレーシアから役人や観光会社を招き、抹茶体験を同社で行うなど、一定のインバウンド効果は認められている。



展示会出展風景

「松鶴みどり」の独自製品と優位性

一般的な食品加工用抹茶は菓子などの食品に使用される場合、その焼成や殺菌でかけられる熱や、店頭販売などの際の光などで抹茶の緑色が褐変してしまう。従来はクロレラや着色料などの抹茶の緑色を補った食品が多かったが、その効果は限定的で抹茶の風味も損なわれる。しかし同社の「松鶴みどり」は添加物などを一切加えずに抹茶本来の風味と色彩を損なわないようにできる商品であり、同社が持つ独自製法である。その結果、焼き菓子などを製造するメーカーには必要不可欠な商品として、業界には幅広く認知されており、高い競争力を有している。



松鶴みどりシリーズ

株式会社杉浦製作所

愛知県西尾市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「高度な技術でワールドワイドに生産 国内大手メーカー車を支える金属ファスナーで未来に向かってはばたきます」をスローガンとする企業

- 地域内の企業を活用して事業を行い企業間の協力関係を確立、地域の雇用確保や地域活性化にも注力
- 顧客ニーズに応える高度な製造技術と信頼の厚い「自社一貫生産システム」によって高い国際競争力を保持
- 地元の雇用創出への貢献、環境経営を重視してISO14001取得、無排水クロムめっきラインを実現

企業基本情報

所在地	愛知県西尾市寺津町宮越 22 番地
電話 / FAX	0563-59-6505/0563-59-8747
U R L	http://www.ssc-ltd.co.jp
代表者	代表取締役社長 杉浦 明博
設立	1939年
資本金	4,800万円
従業員数	528人



会社概要

1939年5月創業の同社は、大手自動車メーカーの一次下請企業としてボルト・ナット等の金属ファスナーを製造している。特に、より高い技術が必要とされるナットが得意であり、国内大手メーカー車が使用するナットの90%のシェアを誇る。難加工材の加工等ができる高度な技術を持つ。国内外に生産拠点をもち、ワールドワイドな生産体制で1ヵ月3億個以上を生産している。高品質な製品の製造だけでなく、人材育成や地域貢献にも積極的である。



同社製品

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 地域内の企業を活用して企業間の協力関係を確立

地域内に仕入先企業を50社以上持っており、地域内での企業間協力関係が確立されている。そして、新工場は立地が西尾市内というだけではなく、工場建設には地域内の業者を利用することで、地域経済の活性化に貢献する予定である。また、インターンシップの手伝いや、地域の学生の採用を行うことで、地域の雇用確保に取り組んでいる。加えて、地域の製造業を盛り上げるべく、自治体と連携して学生の工場見学を行い、地域の活性化に努めている。



工場見学

▶▶▶ 「自社一貫生産システム」による高い国際競争力

難加工材のステンレスやアルミの加工、バッテリーやミッションに使用される高精度製品を製造しており、製品の形状・大きさ・精度により適切に冷間・温間・熱間鍛造の使い分けと機械加工や表面処理などを施し付加価値をつける。そして「設計・金型加工・鍛造・各種加工・表面処理・品質検査」の全てを同社で行っており、この信頼性の厚い「自社一貫生産システム」により高い国際競争力を有している。



冷間鍛造・ねじ切

▶▶▶ 地元の雇用創出、無排水クロムめっきラインによる環境経営

毎年大学新卒だけでも1～5名を採用しており、地元の雇用創出へ貢献している。経営者自身の知識や経験等を活かし、強いリーダーシップを発揮している。同社は一次下請企業として大手自動車メーカーグループ内での地位が確立されている。また、環境経営を推進し、社会的貢献にも努めている。具体的にはISO14001の取得と無排水クロムめっきラインの開発である。クロムめっきの際に発生する廃液処理を同社で行っており、非常に環境に優しいと自負している。



古居工場

生産性向上

需要獲得

担い手確保

中日本鑄工株式会社

愛知県西尾市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「高い技術力を武器に社員満足度（ES）、地域社会満足度（SS）を兼ね備えた企業を目指してはばたく」がスローガン

- 品質確保と生産管理体制構築を重視、特許を取得で製品不良率低減
- 外国人、シニア等、多様な人材の確保・ベテランから若手従業員への技術承継に積極的
- 環境経営を推進、社員満足度（ES）、地域社会満足度（SS）を兼ね備えた企業への飛躍

企業基本情報

所在地	愛知県西尾市港町6番地6
電話/FAX	0563-55-4455/ー
URL	http://www.nakachuko.co.jp
代表者	代表取締役社長 鳥居 祥雄
設立	1943年
資本金	143,705万円
従業員数	105人



会社概要

西尾市の地域資源である鑄物を活用し、製造難易度の高い、主に自動車部品（ハウジング）、建設機械油圧部品（ポンプケース、ピストンモーターケース）を製造している。

高い技術力を生かし高品質のものづくりを行うことに加えて、鑄造から一部切削加工まで同社で一貫生産出来る。名証2部上場企業であることから知名度も高く、社員満足度（ES）、地域社会満足度（SS）を兼ね備えた企業を目指している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

品質確保と生産管理体制構築を重視、製品不良率の低減に成功

難易度の高い、自動車のターボチャージャー部品製造に取り組み、新規受注を獲得し、商圏の拡大に努めている。そして、ブランド力向上のために、品質確保と生産管理体制構築を重視しており、2002年12月にISO9001を取得した。また、2013年4月5日に「鑄ぐるみ部材、およびその製造方法」で特許を取得している（特許第5235971号）。これにより製品不良率の大幅な低減に成功させる等、独創的な技術開発によって付加価値向上に資する取組を行っている。



内視鏡検査で高品質確保

外国人、シニア等、多様な人材の確保・技術承継に積極的

吉良工場において外国人労働者を雇用している。また、会社全体では再雇者を7名雇用しており、シニア、外国人等、多様な人材の確保に積極的である。今後は女性についても積極的な雇用を目指している。また、女性の育児休業取得者もあり、女性が活躍できる職場環境形成を心掛けている。若手従業員への技術承継についても積極的に行うよう、ベテラン社員に指示しており、高い技術力の維持に努めている。



活躍する女性社員

環境経営を推進、社員満足度、地域社会満足度の向上

環境経営を推進しており、ISO14001を取得している。加えて、保有する敷地で太陽光発電「メガソーラーきら」を開始した。CO2の排出量を削減し、地球環境保護に貢献することを目指している。そして経営者は「知恵」と「工夫」を心がけており、技術力の工場や原価低減活動、取引先への提案について強いリーダーシップを発揮している。また、顧客満足度だけでなく、社員満足度（ES）、地域社会満足度（SS）を兼ね備えた企業として更なる飛躍を目指している。



メガソーラーきら

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ポイント

品質を何より優先し、顧客の信頼に応え、
個人尊重の組織づくりで「未来にはばたく
西尾の鋳物ニノミヤ」が企業理念

- 内製化した検査工程を中心に品質を何よりも優先した品質保証体制構築に対する取組
- オートメーション化や熟練技術やノウハウのデータ化による、効率的な生産体制構築に対する取組
- 顧客の立場に立ったものづくりを実践するための、「個人尊重の組織づくり」体制確立に対する取組

企業基本情報

所在地	愛知県西尾市横手町川東新田 17 番地 1
電話/FAX	0563-35-0551/0563-35-3105
URL	http://www.ninomiya-gr.co.jp
代表者	代表取締役 二宮 英樹
設立	1958年
資本金	2,400万円
従業員数	116人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

自動車部品、産業機械部品の鋳物製造を主業務とし、国内外の自動車メーカーに対してはトランスミッション、ターボチャージャーなどの部品を、産業機械メーカーに対してはコンプレッサーなどの部品を供給している。

3DCAD や CAM の活用により、小型化・複雑化した鋳造部品製造の技術力は、業界中トップクラスである。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶「品質を何よりも優先した」品質保証体制の構築

同社は小型で複雑な鋳物部品の製造を行うことで、同業他社との差別化を図るとともに付加価値の向上を図っている。設計工程・鋳造工程で複雑な形状に対応するとともに、内視鏡や磁気を用いた装置と同社で開発した専用装置で検査を行っている。また検査工程で独自の検査認定試験に合格した従業員を配置し、技能向上を行うことで、不良を外に出さない検査体制となっている。さらに、生産設備が計測した品質管理データを同社で管理・分析する事により、品質の高い製品管理体制を構築する。



鋳物部品の一例

▶▶▶オートメーション化・ノウハウのデータ化による、効率的な生産体制の構築

鋳造プロセスのオートメーション化に最新鋭の技術を採用しており、さらにオリジナルに開発した装置により業務の効率化を行っている。また、3DCAD と CAE を活用することで「職人の勘（暗黙知）を「データ化（形式値）」し、高精度高品質の製品の安定供給を行う。また、遠隔地の客先に対しては、鋳造～加工の一貫生産による付加価値向上に努めている。



オートメーション化された鋳造工程

▶▶▶「個人尊重の組織づくり」体制を確立し、人材の活用・育成に注力

同社は近年の需要増加に対応するべく、従業員の増員を検討。HP の採用情報の拡充だけでなく代表取締役自ら、地元を中心とした県内の大学や南九州の高校に訪問し、新卒採用を充実させるための取組を行っている。また、指静脈認証システムを導入した女性専用ロッカールームを設置するなど、女性の働きやすい作業環境を提供。指導者として専門的なシニア人材を登用し、人材育成に前向きな取組を行うなど人財の活用・育成に注力している。



女性専用ロッカールームの指静脈認証システム

久野金属工業株式会社

愛知県常滑市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

熟練技(人)×ロボット×ITの融合で省力、 省人化を推進するグローバルニッチトップ 企業

- 付加価値向上と業務効率化を両輪で実施し、先期に最高売上となる71億円を303人体制で達成
- 近隣住宅地の専業主婦層をターゲットとして、潜在的な生産年齢人材の掘り起こしに成功
- 自社開発の作業改善システムをアプリとして販売。仕入先管理用のシステムを同業者にも公開・販売

企業基本情報

所在地	愛知県常滑市久米字池田174
電話/FAX	0569-43-8801/0569-43-8008
URL	http://www.kunokin.com/
代表者	代表取締役社長 久野 忠博
設立	1947年
資本金	8,000万円
従業員数	303人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

自動車をはじめとするプレス部品の工法開発から製品設計、金型設計・製作、プレス加工及びその後工程の機械加工や溶接、熱処理等の二次加工まで一貫して行う金属加工メーカーである。プレス加工の要である金型も内製化し、独自仕様の高機能な金型づくりを実現。多岐にわたる要素技術の組み合わせと創業より積み重ねた熟練の金型技術や自社開発の多彩な設備群を駆使し、難易度の高い「複雑高精度プレス加工」を可能とし、特に難加工部品や高精度部品など高付加価値製品を得意とする。



会社内観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 研磨機にセンサーを装着し、精度と時間短縮を最適化

同社のICT活用は、人×ロボット×ITの融合という方針に基づき実施。付加価値の高いプレス部品開発・設計・製作に特化し、製造はソフトやシステムを駆使して自動化、技術開発でもICTを駆使してノウハウを仕組み化し、人は考える仕事に特化。製造設備は自社開発ロボット・設備や無人搬送システムで付加価値製造を最少人員で行っている。カン・コツの多い研磨工程では、金型部品を加工する研磨機にセンサーを装着し、IoTを使って精度と時間短縮の最適化を図っている。



IoT 研磨機

▶▶▶ 専業主婦を対象とした募集による生産年齢人材の掘り起こし

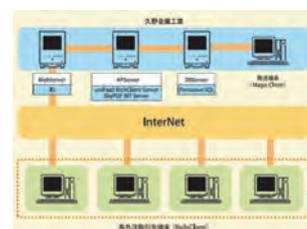
どうすればパートを集めることができるか、専務取締役が妻に相談。「専業主婦は勤務時間・日数を短くすれば集まる」というアドバイスをヒントに、近隣の戸建住宅地にパート職員募集をポスティング。20名がすぐに集まった。高齢の従業員は定年後も再雇用で本人が辞めたいというまで働くことができる。新卒は毎年、大学生、高校生をあわせ毎年10名ほどが入社。社内のサークルから始まったバトミントン部が実業団の全国大会に出場するまでに成長し、学生時代に全国大会を経験した若者も集まっている。



バトミントン実業団

▶▶▶ 自社開発の作業改善システムをアプリとして販売

作業者の作業改善には自社開発システムである「TPS（トヨタ生産方式）カメラ」を導入し、作業者の動きをスマートフォンやタブレット端末で撮影。各工程に要する時間をタイムスタンプで計測しながら作業を改善。この自社開発システムは、アプリとしてAPPストアで市販（全世界で3,000ダウンロード）している。仕入先管理用のWeb-EDI（データ交換）システムなども自社用に開発。関連会社経由で同業者にも公開・販売している。



Web-EDI

株式会社ニワショーセラム

愛知県尾張旭市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

蓄積した独自の生産技術を武器に、時代をリードする新開発に挑む

- 原料製作から最終製品までの一貫生産による、ユーザーニーズに迅速に対応した新商品の安定供給を実現
- 最新設備と新技術の探求により、生産の増強や品質管理向上を実現し、地域住民を中心とした人材を確保
- 環境規制に対応するため、自動車用酸素センサーの空燃比コントロールをより精密にできる新製品等を製造

企業基本情報

所在地	愛知県尾張旭市旭台1丁目2番地1
電話/FAX	0561-53-3321/0561-54-3726
URL	http://www.niwasho.co.jp
代表者	代表取締役社長 丹羽 誠
設立	1928年
資本金	1,412万円
従業員数	186人



会社概要

1928年機器用碍子メーカーとして瀬戸市で創業。1960年代に現在の尾張旭市に本社及び機器用碍子製造拠点を集約。1971年にはファインセラミックスの分野に進出し、豊田市にファインセラミックス工場を建設し生産を開始。機器用碍子、ファインセラミックス共に高い技術と品質を持つ。機器用碍子は、多くの大手重電メーカーを客先とし電力会社等で使用され、ファインセラミックスは、大手の自動車部品メーカーや家電メーカー等を客先に持ち様々な工業品の分野で使用されている。

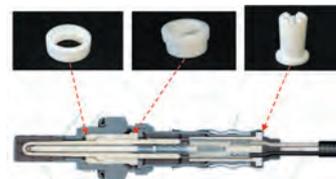


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

標準化、自動化による品質の安定と生産性の向上

機械化やロボット等を用いた自動化を進めてきている。特に、今後増産が見込まれるファインセラミックス部品の製造に対し、品質的にも量的にも安定生産ができるように、プレス成形された製品の取り出しや、棚板に整列させて置くといった作業を完全にロボット化して24時間稼働を可能に。併せて、TPM活動等を行うことにより機械稼働率を高め、省人化も行い原価の低減を実現し競争力を高めている。そして現在は、現行生産量の1.58倍の生産を可能とする体制を構築すべく取り組んでいる。



自動車用酸素センサー完成品

ユーザーニーズを第一主義とした一貫生産

原料から社内で生産することにより原料段階から客先の要望に答えることが出来ると共に、製品の品質を安定させている。あわせて、ファインセラミックスにおいては、生産工程が高度に機械化され、自動車関連の部品等の高い品質、信頼性が要求される部品を大量に安定して供給できる世界でも数少ないメーカーである。また、碍子においては、多様な成形方法を有する事により様々な客先の要望に対応でき、品質面でも管理体制や設備も整い、製品は高度な信頼性を要求される電力会社等で使われている。



酸素センサー部品

増産計画に対応した体制整備のための人材活用

高齢者や女性を働きやすくするため、作業における肉体的な負荷が低減されるよう機械化やロボット化を活用。その結果、現在、従業員186名中、女性が91名、60歳を超える高齢者は15名となっている。また、外国人も22名在籍し、作業長として活躍する外国人女性もいる。人材育成にも力を入れ、社内教育の他にも社外の教育機関も活用し、ものづくり・省エネ関係、品質関係、環境安全関係等のセミナーを受講させる等して人材育成を図っている。



多様な人材活用

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ダイワ化工株式会社

愛知県丹羽郡扶桑町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

ゴム成形職人のプライドをかけて挑む 金型ゴム成形問題解決工場「ゴム屋魂」

- ゴムに関することであればどんなことでも、3D 切削機を活用し金型から製品化までワンストップで対応
- 自動車業界で培った品質管理手法により、高い品質を維持。クレーム 0 は 1300 日を達成
- 得意のインサート成形によりゴムと異素材を強力に接着し、10,000 ニュートンの力にも耐える

企業基本情報

所在地	愛知県丹羽郡扶桑町大字斉藤字山神45番地
電話/FAX	0587-93-1860/0587-93-8250
URL	http://gom-soul.com
代表者	代表取締役 大藪 建治
設立	1985年
資本金	300万円
従業員数	27人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

同社は愛知県丹羽郡扶桑町に事業所を構える金型ゴム成形専門メーカーである。1981年に先代の大藪和義が個人で創業。その後、自動車業界への進出を機に製造工場の増設を行ってきた。業界で鍛え抜いてきた防振ゴムには定評がある。近年は、ゴムの専門家としてのノウハウを活かして、顧客の様々な要望に応えるべく、「金型ゴム成形問題解決工場」を標榜している。誰もが「無理だ」と諦めてしまうような課題に立ち向かう「ゴム屋魂」を持っている。

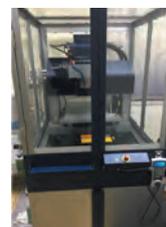


会社外観と従業員

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ ゴムに関することであればワンストップで対応

同社は金型ゴム成形の専門工場として、日本全国から「ゴム」に関するありとあらゆる困りごとを解決している。現物を持っている人からイメージだけが頭の中にある人までその要望を聞き、同社の3D切削機などを活用して、金型の製作から試作品の製作までのプロセスを一気通貫で行っている。ゴムの専門家として、金型の製造から素材の提案、試作品の評価・改善など、あらゆる専門知識を活かしている。



3D 切削機

▶▶▶ 多品種少量生産への対応と徹底した品質管理の実現

同社では多品種少量生産を実現している。日々異なる受注量に対応するため、24台の成形機を組み合わせ運用している。品違いや類似品混入のリスクを減らすために同社独自の「カンバン」を採用している。また、製品の品質を維持するために傾向値管理、認定検査員による全数検査、製品切開検査、標準手順書の運用、品質状況分析を実施しており、2017年10月現在で「クレーム0、1300日継続」を達成している。



品質検査の様子

▶▶▶ ものづくりを支えるゴムと異素材の接着技術

同社のコア・コンピタンスは、ゴムと異素材の接着技術である。この技術によりゴムの柔軟性と金属の剛性を組み合わせ、弾力性と強度を兼ね備えた製品づくりが可能となる。また、ゴムの絶縁性と金属の通電性という2つの性質を同時に実現することにより、自動車などをはじめとした機械系のものづくりに欠かせない部品となっている。これを可能にしているのは同社がゴムと金属を一体で成形するインサート成形を得意としているからである。



ゴムと異素材の接着



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

ビッグデータ・IT を活用した来客予想システムの開発～老舗飲食・小売店が「勘」ではなく「データ」で生産性向上を実現～

- 「勘」ではなく「データ」に基づいた来客予測を導入し、効率化をとことん追求
- 地元企業とも協業し、三重の魅力を詰め込んだお店づくり、品揃えを実現
- 伝統の再定義と最先端技術導入による店舗運営

企業基本情報

所在地	三重県伊勢市宇治今在家町 13
電話 / FAX	0596-24-3494/0596-63-5222
U R L	http://www.ise-ebiya.com/
代表者	代表取締役 小田島 春樹
設立	1912年
資本金	500万円
従業員数	50人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

1912年、「伊勢ゑびや大食堂 / ゑびや商店」という食堂として創業した、伊勢神宮近くの、おはらい町に立地する老舗飲食店。飲食店に加えて、地元の名産品（萬古焼等）を取り扱う商店も経営（中川政七商店の「日本市プロジェクト」の仲間見世7号店）。

2017年10月に代替わり（専務が新社長に）。新社長の主導の下、ビッグデータ、IT を積極的に活用し、攻めの経営に取り組んでいるところ。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 「勘」ではなく「データ」に基づいた来客予測による効率化

中小規模の飲食・小売店では、経験等に基づく属人的な「勘」により、来店が予想されることが多い。しかし、同社では観光予報プラットフォームの宿泊予測等のオープンデータと、食べログのアクセス数等自社保有データを融合し、食堂への来客者を予測するアルゴリズムを開発。これにより、効率的な人材配置や食材ロスの削減、料理提供時間の短縮化を達成。なお、同取組は観光予報プラットフォーム活用コンテスト（主催：日本観光振興協会）にて、大賞を受賞。



観光予報プラットフォーム活用コンテスト受賞内容

▶▶▶ 三重の魅力を詰め込んだお店づくり、品揃えを実現

食堂では、三重県産食材にこだわった料理を提供。また同県内の企業及び大学と「エクストラチルド（ナノアイス）」という保存方法を共同開発。地元水産・物流事業者と連携し、新鮮な鮮魚の保存運搬体制を確立。付加価値の高い料理を提供している。

商店では、三重の食・工芸の企業とコラボしたお土産づくりに尽力。伊勢を元気にするという思いから、統一的なブランドコンセプトを確立。このブランディング [伊勢 ゑびや] は 2017 年グッドデザイン賞を受賞。



萬古焼、伊勢木綿を使った商品例

▶▶▶ 新たな目線で取り組む、伝統×最先端技術両面からの経営革新

2017年10月に、これまで専務であった現社長に代替わり。伊勢という地域の歴史から、老舗飲食店 [伊勢 ゑびや] のブランドを再定義。地域や伝統といった老舗ならではの要素を継承しながらも、ビッグデータを活かした来客予測や、AI・IoT 等の最新の IT 技術を積極的に導入。専務時代からのリーダーシップを持って、伝統×最先端技術の両面から、数字の視覚化等の業務効率の向上を重視した経営革新に精力的に取り組んでいる。



来客予測と視覚化

ポイント

独自の技術力で多様化するニーズに対応 自立した価値創造企業を目指して "Try to Next"

- 常に『カイゼン』を意識し、各種組付治具・検査治具や製造設備、管理ソフトウェアを開発・製作
- 積極的な海外展開を実施、3か所の現地法人設立。安定した品質・生産量・原価管理を実行
- 高い技術力ならびにコスト優位性を有し、あらゆる取引先のニーズに対応できる生産体制を確立

企業基本情報

所在地	三重県亀山市関町新所 961 番地の 6
電話 / FAX	0595-96-1231 / 0595-96-0088
U R L	http://www.sekiden.co.jp
代表者	代表取締役社長 川森 浩司
設立	1964 年
資本金	8000 万円
従業員数	275 人



会社概要

自動車用を中心としたワイヤーハーネス及びソレノイドコイルを製造、自動車部品メーカーや商社を通じて、国内の大手自動車メーカーはもとより、欧米も含めた大手自動車メーカーに同社製品を供給している。また、国内の関連会社 2 社も含めた 5 工場ならびに海外に現地法人 3 社を有しており、次世代のエコ&セーフティカーなどの国内外のあらゆるニーズに対し、独自の開発力と徹底した品質管理で応えている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 自社開発の設備・管理システムを活かし、生産性向上を実施

製造設備、検査機、及び管理システムを自社開発・製作することにより、客先の QCD (品質・コスト・納期) 要求に合わせた最適な生産ラインを実現。

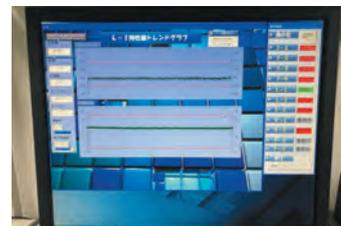
客先の設計開発部門と連携して、同社の製造現場や客先ニーズに合わせた設備開発を行うことで、開発から量産準備や量産工程の業務効率化につなげている。さらに量産後も生産技術力を活かして継続的にカイゼンを行っており、客先へ生産性・品質安定性の提案を行うことで、WIN-WIN の関係を維持する取組を実行している。



自社製作のコイル製造ライン

▶▶▶ 海外に設置した生産設備を日本で一括管理

自動車メーカーの現地調達化に対応するため、中国とタイに現地法人を設立しグローバルシェアを維持。巻線製造ラインは国内自社工場設計から製作まで行っているため、専門知識を持ったスタッフが少ない海外工場においては現地の気候風土、作業品質を考慮した工程管理・設備管理が課題であった。その解決策として、各設備を IoT 化することで、リアルタイムに生産状況、保守状況、品質の傾向などを見える化し、遠く離れた日本からいつでもサポートできる体制をとり克服した。



生産設備の集中管理画面

▶▶▶ 顧客のコスト要請、品質基準に対応できる生産体制を確立

キーインターロック (鍵の脱落を防ぐ安全装置) に組み込まれるソレノイドは、その使われ方の重要性から高度で複雑な検査を要求される。同社がこれまでに築き上げてきた技術、開発力で客先ニーズに合わせた信頼性の高い検査機を製作し対応している。客先の要求品質にきめ細かく対応できる設計・製作一貫体制が強みである。現在この用途のソレノイド部門においては国内大手自動車メーカー (1 社) の世界シェア 7 割を有している。



ソレノイド検査機



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

高岡の伝統的な鑿子（けいす）製造技法を活かし、今までに無いテーブルウェア「すすがみ」を開発

- 鑿子作りで培った伝統的な鍛金技法を活用し、テーブルウェア「すすがみ」を独自に開発
- 伝統的な鍛金技法を活用するからこそ付与される「すすがみ」の自由度や模様
- 地域の大学からの採用やシニア人材の雇用など、多様な人材を活用

企業基本情報

所在地	富山県高岡市千石町 4-2
電話/FAX	0766-22-4727/0766-22-4717
URL	http://www.syouryu.co.jp/
代表者	代表取締役 島谷 栄一
設立	1909年
資本金	300万円
従業員数	13人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

1909年に工房を立上げ、全国の寺院向けの鑿子（けいす、読経の際鳴らす鐘）を専門に製造している。高岡市では唯一、一子相伝の伝統技法を今に伝えてきた。しかしながら、鑿子の買替え需要は少なく、海外からも一部輸入されており、鑿子の製造のみでは先行きが厳しい。そこで、鑿子作りにおける職人技である鍛金技法を活用した、今までに無いテーブルウェア「すすがみ」を5年前に開発した。現在では、売上高の約7割を占めるようになってきている。



同社が製造している鑿子

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 鍛金技法を活用し、テーブルウェア「すすがみ」を独自に開発

鑿子の買替え需要は少なく一部海外からも輸入されているなど、鑿子を取り巻く厳しい環境に危機感を持ち鑿子作りの伝統的な鍛金技法を活用した新しいアイテム「すすがみ」を5年前に開発した。「すすがみ」は紙のように薄く、自由に曲げることができるテーブルウェア。発売以来累計4万個を販売し、同社売上高の約7割を占めるに至っている。富山県の補助金も有効に活用し販路開拓を行ったことにより、国内の百貨店、セレクトショップだけでなく、海外のショップでも取り扱われている。



繰り返し自由に曲げられる「すすがみ」

▶▶▶ 伝統的な鍛金技法で培われた「すすがみ」の自由度や模様

通常、すすの板を叩くとひび割れを起こすのだが、同工房の職人が鍛金の技法を用いて叩くとひび割れは起きない。長年鑿子作りで培った鍛金の技術である。この鍛金技法を活用して製造したものが同社の「すすがみ」であり、紙のように薄く、自由に何度も曲げることができるという、今までに無かった特徴を備えたものを作り出すことができた。また「すすがみ」は、すすの板を何度も叩くことで独自の模様を商品に与えており、意匠性にも優れている。



上段：意匠性のある独自の模様
下段：食器としての利用

▶▶▶ 地域の大学の若手やシニア人材の雇用など、多様な人材を活用

「すすがみ」の販売が好調であることから、従業員が4名だったところを9名増やし、13名とした。雇用については、地域の美術工芸大学からも採用するなど、地域の大学と連携し、若手人材を獲得している。

また、地元のシニア人材も雇用して多様な人材の確保に取り組んでいる。地域の雇用に貢献するだけでなく、「すすがみ」の製造に必須である、伝統的な鍛金技法の承継と拡大にも貢献している。



「すすがみ」製造に必要な鍛金技法

羽二重豆腐株式会社

石川県金沢市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

がんもどきを主力にした大豆加工食品を製造販売し、健康と美味しさを届けている

- 小麦粉や卵白の使用を取りやめ、グルテンアレルギー市場やベジタリアン市場へ販路を拡大している
- 主力のひろうすはグルテンフリー、ミートフリー、GMOフリーで、国際競争力を有している
- 海外への展示会やイベントの出展やSNSの発信で直接消費者へ発信し商品の認知拡大、新規顧客層の取り込みを図っている

企業基本情報

所在地	石川県金沢市西金沢2丁目162番地
電話/FAX	076-249-1171/076-249-1174
URL	http://www.habutae.co.jp/
代表者	代表取締役社長 藤原 英二
設立	1923年
資本金	4,000万円
従業員数	100人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

1923年の創業以来、大豆加工食品を専門に製造販売する老舗食品メーカーで顧客の期待に答え信頼される商品を提供している。商品開発、製造、販売まで全て自社一貫体制をとっており、顧客の健康を第一に考えて遺伝子組換えでない（Non-GMO）大豆を原料とした素材と金沢の美味しい水を使った豆腐にこだわり、安全・安心で美味しくて高品質な商品を全国各地に販売している。大豆の栄養を活かした健康に役立つ日本の伝統的な食材を世界に広めようと取り組んでいる。



ロゴマーク・調理例

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

海外のベジタリアン市場に向けて動物性原料使用を取りやめ

海外でのベジタリアンやグルテンアレルギー市場の拡大を見込み、ひろうす（がんもどき）の唯一の動物性原材料である卵白と小麦粉を使用しない完全植物性のひろうすを開発。現地に対応したメニューを提案することにより既存の健康意識の高い消費者向けの市場に加えベジタリアンやグルテンアレルギー市場等に向けた訴求を強化して海外の幅広い市場に向けた販路拡大に取り組んでいる。海外での展示会やイベントに積極的に出展して、直接マーケティング活動を行いながら販路開拓を進めている。



Vegan Street Fair 2017 in NYC

グルテンフリー、GMOフリー、ビーガンフレンドリー商品の開発

もともと大豆は栄養価が高く、豆腐は健康に良い食材として世界に認められている。欧米でのベジタリアンマーケットやセリアック病の広がりに着目して、同社が海外向けに開発した豆腐の加工品である完全植物性のひろうすはミートフリー、グルテンフリー、GMOフリーで食品添加物に依存していないため、健康的で安全で安心して高齢者から子供まで食べる事が出来る商品である。近年の食の健康志向の高まりで市場が拡大する中、日本の伝統的な食材として高い国際競争力を有している。



英語版フライヤー

海外ファンの取り込みとビーガン対応

海外販路開拓のために英語版のHPを新設し、海外のシェフが考案した同社製品を活用したレシピを紹介。インスタグラムを活用し、調理方法や食べ方のアレンジを紹介。世界的に評価されたレストランでのメニュー採用例やイベントでのがんもどきの紹介風景などを発信。消費者へ直接発信する事で市場認知度を高め、新規顧客層を開拓し継続的な受注、販路拡大につながるビジネスモデルを構築した。独自のメニュー提案やビーガン対応で日本食レストラン以外のレストランへの展開を可能にした。



海外シェフのレシピ紹介

数馬酒造株式会社

石川県鳳珠郡能登町



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

能登の地域資源を活かした特徴ある酒造りを通じて、地域の魅力発信や活性化に大きく貢献

- 製造工程の改善や成分分析により、高品質・高付加価値商品の開発を図り、新規需要の獲得に繋げている
- 能登の素材にこだわり、耕作放棄地を活用した米作りにより地域活性化にも貢献している
- 「共創体験型販売」や「Nプロジェクト」といった独自の事業展開により販路を拡大

企業基本情報

所在地	石川県鳳珠郡能登町宇出津へ36
電話/FAX	0768-62-1200/0768-62-1201
URL	http://chikuha.co.jp/
代表者	代表取締役 数馬 嘉一郎
設立	1869年
資本金	4,800万円
従業員数	14人



会社概要

1869年から石川県能登町で酒造りを開始し、「竹葉」の銘柄で地元を中心に親しまれ続けてきた酒造メーカー。地元の原料にこだわって造られた酒は、国内外で高い評価を得ている。能登の耕作放棄地削減と、若者の力で日本酒・農業・能登を盛り上げる企画「Nプロジェクト」にも取り組むなど、地域に寄り添いながら持続可能な酒造りに挑戦し続けている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

最新設備の導入による高品質・高付加価値商品の開発

これまでは作業実施者の経験と勘に頼って行っていた醪の成分分析作業を、最新の分析機械の導入によりデータを分析・収集することで、分析結果の信頼性が向上。加えて、新型の醪圧搾機も導入し、圧搾空間を冷蔵庫化したことで、高品質の酒を安定して製造できるようになった。また、分析結果の蓄積により、科学的根拠に基づいた商品開発も可能となり、新規需要の獲得を目指して消費者の嗜好に合わせた付加価値の高い新商品の開発に取り組んでいる。



醪分析機

地域資源の積極的な活用による「能登の酒造り」と地域活性化

能登の米、水、能登流の技で醸す、地域資源をフル活用した「能登の酒造り」に強いこだわりを持っており、他社が兵庫県など他地域の米を主に使用中、同社では約9割が能登産となっている。

地元の耕作放棄地を活用して水田作りから米作りを行っており、これまでに東京ドーム約4個分が水田に生まれ変わった。また、地元の廃校となった保育所も改装し、醤油蔵にリニューアルするなど、地域の課題解決・活性化にも大きく貢献している。



酒の仕込み風景

「共創体験型販売」や「Nプロジェクト」などによる需要獲得

県外の酒販店・百貨店を招聘し、水田作りから共同で酒造りを体験してもらい、商品を深く理解してもらった上で販売してもらう「共創体験型販売」を実施し、販売強化を図っている。上述の「Nプロジェクト」により、日本酒に馴染みの薄い若い世代の取り込みと、企業価値、商品価値の向上を図っている。

他にも、若い女性をターゲットにした「聖地巡盃」（酒蔵と神社を巡るツアー）を地元自治体と連携して実施するなど、様々なプロモーション活動を通して確実に需要を取り込んでいる。



聖地巡盃

生産性向上

需要獲得

担い手確保

河合石灰工業株式会社

岐阜県大垣市



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

自然の恩恵「石灰」を通じて、幅広いフィールドで産業をサポートしながら美しい未来の環境づくりに貢献

- 高品質な地元石灰石を利用した産業・生活を支える石灰製品から、新素材で電子部品分野にも進出
- 焼成技術・水熱合成技術をコアに新素材を開発・製品化し、エレクトロニクス分野に進出
- 社員の意識改革・技能取得に積極的に取り組むとともに、地域と共に人づくり活動に参画

企業基本情報

所在地	岐阜県大垣市赤坂町 2093 番地
電話/FAX	0584-71-1121/0584-71-1361
URL	http://www.kawai-lime.co.jp
代表者	代表取締役社長 河合 進一
設立	1885年
資本金	10,000万円
従業員数	250人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

1885年に石灰製造業として創業、石灰石の採掘・選鉱、焼成、加工等を本業とし、製鉄、化学、建材、公害防止、土壌改良等多様な製品・資材を長年安定供給している。近年、石灰製品の製造技術をベースとした新材料及びナノ無機材料開発を積極的に展開し、樹脂やゴムの補強材、難燃剤等として環境にも優しいアルミナ水和物フィラーを開発・製品化し、エンジニアリングプラスチック部品や電子部品のメーカーにも供給している。



施設外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 新機能ナノ～ミクロン無機材料で電子部品分野に進出

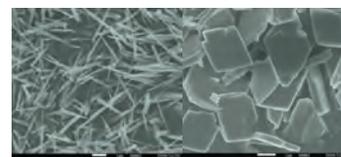
豊富な埋蔵量と高品質を誇る地元大垣市赤坂の石灰石を採掘、焼成、加工し、石灰製品（鉄鋼用、酸性排ガス処理用、防疫用他）として供給していたが、新素材開発に積極的にトライ。石灰をベースとした新材料や石灰製造で培った微粉末製造・水熱合成技術を活用し、プラスチックやゴムに混ぜ合わせることで強度や耐熱性を高めるフィラーと呼ばれる樹脂補強材、樹脂難燃剤等を開発。エンジニアリングプラスチック部品や電子部品メーカーに供給している。



エンブラ部品・電子基板部品

▶▶▶ 新たな無機化合物の結晶制御技術を確立、多様なニーズに対応

環境負荷の少ないアルミナ水和物のベーマイト（ $AlOOH$ ）に着目し、コア技術の水熱合成と焼成技術により、岐阜県との共同研究を経て、ベーマイト結晶の形態制御技術を実現した。針状、粒状、鱗片状等の形状やサイズを自由にコントロールすることにより、多様なユーザーからの要望を可能にした。本ベーマイトは、難燃性や補強性を有しており、電子部品等の環境対応にも寄与する。また、電池材料としても注目されている。世界でも数少ない高純度ベーマイトを量産する企業の1社である。



ベーマイトの形態制御（左：針状、右：鱗片状）

▶▶▶ 地域との共生、地域の人づくり活動を実践

地元の小中学校の社会見学をはじめ、工業高生向けの研修、大学生の中期インターシップ等積極的に受け入れるとともに、経営者自らが岐阜大学、岐阜経済大学にて企業経営や研究開発に係わる講義を行うなど地域人づくりに取り組んでいる。また、県内での植林等を通じた森林資源の再生・保全活動や20年続く社員による自主的な地域清掃活動など地域社会に貢献する事業を継続して実施している。



地元中学生の工場見学

有限会社船坂酒造店

岐阜県高山市



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

伝統と革新により飛騨高山から「古くて新しい日本酒」と「日本文化」を世界へ発信

- 積極的に海外展開を図るとともにコーシャ認定を取得するなど販売拡大を続けている
- 四季醸造を取り入れるなど特徴ある製法や商品を創作しながら国内外に対して日本酒文化を発信している
- 伝統ある古い酒蔵の良さを生かしながらも革新的な取組やサービスを積極的に取り入れている

企業基本情報

所在地	岐阜県高山市上三之町 105
電話/FAX	0577-32-0016/0577-32-2824
URL	http://www.funasaka-shuzo.co.jp
代表者	代表取締役社長 有巢 弘城
設立	1957年
資本金	2,400万円
従業員数	43人



会社概要

同店は、江戸末期に酒造りを開始した200年以上続く老舗の造り酒屋。1957年に法人化。2010年4月に店舗のリニューアルを行い、酒の製造だけでなく直売も行っている。さらにはレストランも併設させ、日本酒を作り出すところから、口に入るまでを一貫で提供できる新たな飛騨高山の観光名所として日本酒を核にした日本文化を発信している。また、海外市場への輸出にも力を入れており日本酒、日本文化を世界へPRしながら営業している。



店舗外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 日本酒や日本酒ベースのリキュールを積極的に海外展開

2013年頃より海外市場への輸出を開始し、積極的な展示会出展や商談を通じ、2017年10月時点で日本酒やリキュールを累計で約12,000本（販売額ベースで約1,000万円）販売した。国別では、シンガポール、オーストラリア、香港、米国、フランス等、約10カ国へ輸出中。さらに東海3県内において初の日本酒「コーシャ認定」を取得したことで、更なる海外展開への足掛かりも構築した。また、外国人観光客を通じて、海外での日本酒ファン作りにも注力している。



積極的な海外展示会出展で販路を開拓（香港での展示会）

▶▶▶ 「四季醸造」を取り入れた商品ラインナップとサービスを展開

四季を通して酒造りを行うことで、年中しぼりたてを製造できる設備と技術を有している。積極的に製造・貯蔵管理を変革させたことで、近年では全国新酒鑑評会金賞、岐阜県知事賞、名古屋国税局優等賞等の公的な表彰を受けるとともに、フランスのクラマスタープラチナ賞（最高位）、ロンドン酒チャレンジゴールド賞等の海外評価も受け、国内外で品質を認められている。継続的・積極的な投資を行うことで、生産効率の向上を図り、急な注文ニーズにも対応できるだけの仕組みを整えている。



豊富な商品ラインナップ

▶▶▶ 伝統を守りながらも積極的な革新を推進する経営者

経営者は前職で中小企業の再生等を専門とする経営コンサル会社に勤めていたため、財務・会計や金融関係にも明るい。社内のイノベーター的な役割を果たし、製造から小売、飲食まで様々な業務を積極的に改善し売上を作り出してきた。地元への愛着も深く、公私併せた地域連携を基に、外国人雇用や学生インターン、シニア・女性・障害者の積極的な採用で雇用創出のモデルを作り出す。また、外国人観光客をもてなす施策など将来の需要を見越した次の一手を推進している。



酒蔵と中庭で体験メニューやイベントも展開

生産性向上

需要獲得

担い手確保

有限会社大堀研磨工業所

岐阜県各務原市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

“多品種少量部品を高品質・短納期・低価格にご提供”をモットーに、小回りのきく研磨屋として事業を展開

- 内外径の円筒研削、内面研削など、業界トップクラスの研削加工技術を有し、難削材の研削加工にも対応
- 航空機エンジン部品の多工程一括受注生産を目指し、「岐阜航空機部品クラスター」に参画
- 国内外における新規受注獲得・販路開拓を目指し、航空宇宙関連の国際展示会などにも積極的に出展

企業基本情報

所在地	岐阜県各務原市蘇原寺島町1丁目9番地
電話/FAX	058-389-1811/058-389-1812
URL	http://www.ohorikenma.co.jp/
代表者	代表取締役社長 大堀 憲
設立	1968年
資本金	800万円
従業員数	52人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

岐阜県各務原市に立地する精密研削技術を強みとした中小企業。工作機械や自動車関連部品などの精密部品に加えて、2010年には航空宇宙品質マネジメントシステム（JISQ9100）を取得、航空宇宙などの新規分野にも積極的に進出し、航空機エンジン部品の一括受注生産を目指した地域の中小企業グループにも参画。

最新の加工設備・検査設備を導入し、多品種少量のモノづくりを行う研磨技術のエキスパート集団である。



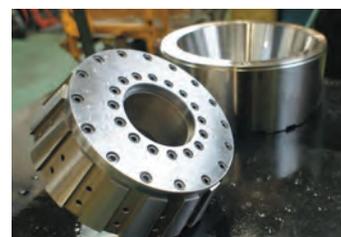
従業員一同

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 業界トップクラスの研削加工技術を保有

内外径の円筒研削、内面研削など、業界トップクラスの研削加工技術を有し、インコネルやチタン、CFRPなど難削材の研削加工にも対応。

恒温検査室には三次元測定器や真円度測定器を保有し、五感で仕上げてハイテク検査機で品質を保証する体制を構築。航空宇宙分野への事業展開を目指し、2010年10月に航空宇宙品質マネジメントシステム（JISQ9100）を取得済み。これらの技術により宇宙機器や自動車のF1（フォーミュラ1）関連機器の加工実績をもっている。



研削加工で作られた難削材の部品例

▶▶▶ 航空機部品の一括受注生産のため、中小企業グループに参画

航空機産業に参入していない企業でも技術力の高い企業が多く、10年後の産業として今後の需要拡大が期待できる航空機エンジン部品の多工程一括受注生産を目指し、中小企業グループ「岐阜航空機部品クラスター」に参画。

2016年8月に設立した「岐阜航空機部品クラスター」は、地域の金融機関の支援のもと、精密研削を担う同社に加えて、ワイヤー放電加工・型彫り放電加工、精密切削加工、CFRPプレス加工などを担う県内中小企業が参画（現在、5社）している。



岐阜航空機部品クラスター（GACCT）設立の記者会見

▶▶▶ 精密研削技術を強みとして国際展示会・商談会へ積極的に出展

業界トップクラスの精密研削技術をコア技術として、国際展示会・商談会へ積極的に出展し、新規顧客を開拓。ハノーバメッセ2016出展の成果としてドイツからの受注に成功し、今後、ドイツ、フランス、アメリカからの受注を目指し、国内で製造し海外への出荷を拡大する仕組み作りにも注力。



国内外の国際展示会・商談会への出展

株式会社ハイビックス

岐阜県瑞穂市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

ビニール製品の溶着技術を使った「空気でふくらむ」製品を追求してきたからこそ、 こだわれる本当の「高品質」

- 使用材料・開発・生産・梱包まで全て一貫した生産体制によるこだわりの国内生産
- 国内 OEM 生産で培った技術・ノウハウを活かし、海外市場参入に挑戦
- 社員が働きやすい環境づくりに努め、岐阜県の子育て支援エクセレント企業に認定

企業基本情報

所在地	岐阜県瑞穂市宮田 245
電話/FAX	058-328-3131/058-328-3136
URL	https://hivix.co.jp/
代表者	代表取締役社長 高井 順子
設立	1954年
資本金	2,400万円
従業員数	64人



会社概要

1954年にビニール製品メーカーとして創業。日本でのものづくりに徹し、時代のニーズに合わせながら、ビニール製品の溶着技術を転用し、レジャー製品、スポーツ用品、メディカル用品、産業資材用品へとすそ野を広げる。OEM生産での床ずれ予防エアマットや、高速道路に使用されているETCパーは国内トップシェアを占めている。特に「エアサポート」という床ずれ防止を目的とした医療用エアマットは注目を集め、近年ではヨーロッパ諸国や中東からの引き合いも多い。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

国内生産にこだわった高品質な製品づくり

自社工場にて製品開発から製品の加工、品質管理まで国内一貫体制を徹底している。60年以上の経験から培われたノウハウを活かし、加工技術だけでなく製品用途に合わせた材料開発から携わることで、付加価値と信頼を高めている。また国内に本社および工場があることで、顧客との密なコミュニケーションをとりながら、スピード感を持って顧客の要望に応えられている。日本製という高い品質を維持しながら、生産効率やコストにも妥協せず、信頼のおける製造企業を目指している。



自社工場

国内 OEM 生産から海外市場への参入

国内 OEM 生産で培った技術・ノウハウを活かし、中小機構の FS 海外市場調査助成を活用しながら、医療機器としてヨーロッパ市場に合わせた床ずれ防止エアマットを開発する。

またジェットロのジャパン・パビリオンにてドイツおよびドバイの医療機器展やオランダでの医療介護展に積極的に出展し、現在欧州や豪州、中東への販路拡大を目指す。欧州はオランダに子会社を設立し、販売を展開する。



海外展示会での様子

社員が働きやすい環境づくり

働き方改革に早くから取り組んでおり、働きながら子育てがしっかりできるように、短時間正社員制度や学童保育費用、第2子以降の出産直後のベビーシッター代を会社が負担するといった制度を設け、岐阜県の子育てエクセレント企業に認定された。仕事の進め方や効率化を図り、残業を積極的に軽減する取組を行った結果、社員の残業時間は、月40時間を超えることがなくなった。新卒の採用や高齢者の再雇用も積極的に進んでおり、勤続54年75歳の社員も元気に活躍している。



働きやすい環境づくり

生産性向上

需要獲得

担い手確保

株式会社ヘルスケアシステムズ

愛知県名古屋市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

郵送検査サービス「カラダチェック」で生活習慣の見直しを

名古屋大学発ベンチャー企業

- 未病領域に特化した郵送検査と15万人超の検査データを活用したサービス
- 大手もの作り企業との共同によるオンリーワンの検査技術開発、複数の特許保有
- 働きやすい職場作りの推進、学術やマスメディアとのネットワークの最大限の活用

企業基本情報

所在地	愛知県名古屋市千種区千種 2-22-8 名古屋医工連携インキュベータ 105
電話/FAX	052-734-8885/052-734-8851
URL	http://www.hc-sys.com/
代表者	代表取締役 瀧本 陽介
設立	2009年
資本金	2,000万円
従業員数	23人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

名古屋大学農学部発ベンチャー。大学で培われた研究データと検査技術に基づき、産学連携によって予防・健康増進に特化したバイオマーカー（検査項目）および検査装置の研究開発を行っている。また、その技術を活かし、生活習慣を見直すための一般向けの郵送検査サービスを事業展開している。研究開発と郵送検査サービスのノウハウを用い、企業や自治体にむけてのエビデンス提供も行っている。



会社外観（NALICに入居）

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 未病領域に特化した郵送検査と15万人超の検査データ

高齢化社会が進む中、健康維持・予防への関心は高まり、自宅で手軽に検査ができる郵送検査サービス（「カラダチェック」）は、15万人を超える利用がある。

同社は検査サービスを通じて、医療機関で保有しない未病段階の顧客情報や生活習慣に関するデータを取得。顧客からデータの二次利用の同意を得て、研究用途、情報提供へ活用している。検査結果と生活習慣や行動特性を解析し、各ユーザーに生活習慣改善提案サービスを進めている。



郵送検査サービス「カラダチェック」の各商品

▶▶▶ 大手もの作り企業との検査技術開発、複数の特許保有

大手企業との共同開発によって独自の検査システムを開発。特許を11件（出願中含む）保有。

大豆の健康効果の個人差に着目した『ソイチェック』や腸内環境をみる『腸活チェック』など、身近な食生活に関する検査を実現。30代～50代の女性を中心に累計ユーザー数は15万人を超え、全国の医療機関650施設、調剤薬局約2,000店舗で展開。大手通販サイトでは『ソイチェック』が検査キット部門で1位を常時獲得。健保組合や自治体でも健康意識向上等のため活用が進んでいる。

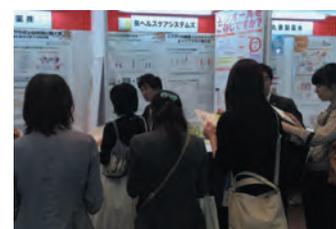


大手企業との共同開発検査システム

▶▶▶ 働きやすい職場作りの推進、ネットワークの最大限の活用

郵送検査市場は黎明期であるが、大学発ベンチャーの強みを活かし医学会で学術発表を行い医師等へ営業を効果的に実施。また検査キットを用いた研究が北米閉経学会で学術賞をとるなど学術成果も多い。また過去3年間で、新聞12紙、雑誌40誌以上、テレビ8番組に取り上げられている。

「健康経営優良法人2017」認定や厚生労働大臣認定の「えるぼし」を取得。健康経営や女性が働きやすい企業を推進し、優秀な人材獲得に活用している。



医学会でのブース出展

中津川包装工業株式会社

愛知県春日井市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

従来の段ボールのイメージを変え、物流部門に新しい光を投げかける中津川包装工業

- 自社開発の強化段ボールと高い設計技術で物流費低減や作業効率向上を実現し、包装材を高付加価値化
- 軽くて使いやすい段ボールパレットを開発して顧客の海外展開を支え、累計 1500 万枚超の需要を獲得
- アイデアと設計技術で顧客の物流課題を解決する事業モデルで単なる製造業ではない独創的な地位を築く

企業基本情報

所在地	愛知県春日井市長塚町 2-12
電話/FAX	0568-31-6161/0568-31-5788
URL	http://www.nb-npi.co.jp/
代表者	代表取締役社長 大辻 誠
設立	1955 年
資本金	10,000 万円
従業員数	170 人



会社概要

抜群の強度を保持する強化段ボールを開発し、その信頼性と、様々な形状・材質の商品の包装ニーズに応える設計技術によって、ピアノや産業用無人ヘリ等の高付加価値な段ボール需要を次々と開拓。段ボールパレットは女性にも運べる作業性とリサイクル性で累積販売 1500 万枚を突破。イスの輸出包装ではコンテナ当たり積載数を 3 倍増とし、顧客の海外展開拡大に貢献。顧客の課題を解決する包装提案を売り物に新たなビジネスモデルを確立。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

物流費低減や作業効率向上につなぎ、包装材を高付加価値化

包装材料については、特に重量物を中心に、木材、スチール、樹脂などの素材を使用するケースが多い中、自社開発の 100%リサイクル可能な強化段ボールを活用した包装提案を行い、コンテナへの積載可能数の大幅増、包装材費の低減によるトータル物流コストダウンを実現させるとともに環境負荷低減にも貢献。また、高い設計技術により、梱包・開梱作業の簡便化の効果も合わせ持たせ、顧客の作業性・生産性の向上を実現させている。



産業用無人ヘリコプターのオール段ボール包装

使いやすい段ボールパレットを開発し顧客の海外展開を支える

パレットについて、①段ボールパレットは軽量なため、海外輸送費が木パレットの 3 分の 1 から 4 分の 1 で済むこと、②木パレットは害虫侵入防止のため燻蒸処理が求められるが、段ボールパレットは処理不要のため燻蒸に係る処理費と時間が節約できること、③ 100%段ボールでリサイクル性が高いこと、などのメリットにより顧客の海外市場への販路拡大を支えており、輸出用を中心に累積 1500 万枚超のヒット商品となっている。



累積 1,500 万枚超の段ボールパレット「ナビパレット」

課題を解決する事業モデルで独創的な地位を築く

同社のビジネスモデルは、顧客の物流環境に応じて、梱包、保管、輸送、開梱、使用後の廃棄まで考慮した仕様を考案し、これらに関わる多くの方々々にメリットを提供する「トータル物流コストダウン提案」にその真髄がある。このため、同社は単なる包装材製造業ではなく、顧客の現場の課題に真摯に向き合い、アイデアと設計技術でその解決方法を提案する「物流コンサルタント企業」である。特に重量物包装では他の追従を許さない独創的な地位を築いている。



木枠から段ボール包装への改善事例

生産性向上

需要獲得

担い手確保

株式会社マエダモールド

愛知県常滑市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

常滑焼の伝統技術と先端技術を融合して、新しいものづくりにチャレンジ

- 常滑焼の生産技術である石膏型の製造技術を応用することで、高品質な人工乳房を低コストで生産
- 石膏型の職人の手作業による技術と、3D スキャナーや工作機械といった先端技術を融合
- 強みを冷静に分析するとともに、市場のニーズを的確に捉え、新事業に積極的な経営に取り組んでいる

企業基本情報

所在地	愛知県常滑市瀬木町3丁目60番地
電話/FAX	0569-35-3109/0569-34-7947
URL	http://maeda-mold.co.jp/index.html
代表者	代表取締役 前田 茂臣
設立	1985年
資本金	1,000万円
従業員数	13人(役員・アルバイト)



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

同社は、1954年に常滑市で創業、1985年5月に法人化した石膏型製造業である。常滑焼の製造に用いる石膏型の製造が本業であるが、「今までやったことがない難しい仕事でも、とりあえずやってみる」という気風を大切にしている会社であり、衛生陶器やファインセラミックス、建材モデルなど、様々な分野の型づくりを行ってきた。そうして培った型づくりの技術を活用して、人工乳房をはじめとする人工ボディ事業部や金属加工など、常に新しいものづくりにチャレンジしている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

常滑焼の生産技術を活かし、全くの異分野で新事業を展開

長年培ってきた常滑焼の生産技術の一つである石膏型の製造技術は、急須や衛生陶器など曲面の多い常滑焼独特の技術である。

この技術と先端技術である3Dスキャナーとデータ加工技術等を融合することで、精度の高い人工乳房の石膏型を製造し、乳がんによって乳房を切除した方向けのシリコン製の人工乳房を開発した。



人工乳房

完成度の高い人工乳房を安価で提供することを実現した

これまで、人工乳房は義手や義足の職人による手作業によるものがほとんどで、製作技術や価格も職人によって大きく異なっていた。

常滑焼の石膏型という職人の技術と3Dスキャナーや工作機械といった先端技術を融合させることで、精巧な再現性を持つ人工乳房の石膏型を製造した。この石膏型を用いることで、シリコン製の人工乳房を量産化することに成功した。これにより、高い完成度の人工乳房を安価で販売することが可能となり、乳房切除を行った乳がん患者のニーズを満たしている。



人工乳房の製造工程

培った技術に先端の技術や設備を融合させて新分野を開拓

代表取締役は、地域資源である常滑焼の石膏型製造という縮小傾向にある業界にありながら、同社の強みである職人の技術力をベースにして、先端の3Dスキャナーや工作機械を導入し、人工乳房等を開発する人工ボディ事業部を創設したが、それにとどまらず金属加工の分野にも進出し、新たな市場を獲得している。結果として、近年縮小傾向にある業界にあっても、売上伸張、利益確保を実現している。



先端機械も積極的に導入

株式会社エムエス製作所

愛知県清須市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「ビッグよりグッドなカンパニー」をモットーに、海外各地へ展開し、グローバルな人材育成を実践

- 高い技術力を武器に、先駆けて世界各国に進出し、各地の経済活性化に寄与
- 垣根を超えた外国籍の人材採用、地域のみならずグローバルな雇用創出に貢献
- 創業以来培った高度な技術、生産体制により、多岐にわたるニーズの製品化を実現

企業基本情報

所在地	愛知県清須市春日立作 54 番地 2
電話 / FAX	052-409-5333/052-409-3004
U R L	http://www.msgroup.co.jp
代表者	代表取締役社長 迫田 幸博
設立	1971 年
資本金	3,811 万円
従業員数	53 人



会社概要

自動車向けウェザーストリップ成形金型製造業者。ユーザーのそれぞれのニーズに従い、金型の設計・製造まで一連の工程を担う。また、3次元加工用の金型成形等、世界トップクラスの技術力を武器に、国内だけでなく海外にも積極的に展開する。具体的な進出国は、中国、インドネシア、メキシコ、タイ。直近ではインド進出も手がけ、各国での様々なニーズに応える。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 高い技術力を武器に世界各国、世界多様なメーカーと取引推進

同社は同業他社に先駆けて海外（人口が多く、一次メーカーが拠点を構えている所）に進出し、国内外メーカーの現地での需要にいち早く対応することを可能とした。特に同社の高い技術力は、海外メーカーからも評価をされ、各拠点それぞれが現地で受注を確保。また、同社グループ内でも各拠点の繁閑に応じて受注に対する生産を分散させ、グローバルな視点で生産の効率化を実践。各拠点が常に最適な生産体制にあることで技術力の維持向上とリスクへの対応に努めている。



メキシコ現法

▶▶▶ 多様な人材を確保し、地域及びグローバルな雇用創出に貢献

地元愛知県を中心とした若手人材を採用し、ゼロから技術指導。海外採用についても同様の方針としており、20年前より他社に先駆けて、中国・インドを中心とした様々な国籍の外国人スタッフを採用。日本で日本人同様の技術指導を徹底的に行った上で、各拠点へ輩出。同社グループは約5割が日本国籍以外の社員で構成されており、各拠点とも日本人スタッフが常駐しなくても運営可能なほど、現地化を果たしている。



グローバルな人材採用

▶▶▶ 全てのユーザーの要望に対応しうる金型成形技術・ノウハウ

同社の自動車向けウェザーストリップは車のドアや窓部分に使用されるゴム製品で、特殊技術が伴った金型が必要。金型製造には3次元加工等の高性能設備と、高い技能を有する人材が欠かせない。同社は世界屈指の技術力を兼ね備え、多くのユーザーと取引関係を構築。設計から製造までグループ内で一貫対応が可能のため、ユーザーの使用目的・ニーズに応じたものを生産でき、他社と比較しても圧倒的な優位性がある。



最新鋭の設備

生産性向上

需要獲得

担い手確保

おぼろタオル株式会社

三重県津市



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

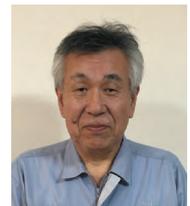
ポイント

「一度使ったら手放せない」という顧客の評価が喜び。創意工夫と信頼の百余年

- 地域の特色と知的資産の融合によるオンリーワン商品の創出。「伊勢古式着物文様」と「おぼろ百年の極」が誕生
- 客観的評価による開発商品の差別化。特許出願による革新性、第三者機関認証による安全安心のものづくり
- 「人に優しく、環境を配慮したものづくり」を実践。個人の事情が尊重され、仕事と生活が両立できる職場

企業基本情報

所在地	三重県津市上浜町3丁目155番地
電話/FAX	059-227-3281/059-228-8392
URL	http://www.oboro-towel.co.jp/
代表者	代表取締役社長 加藤 勳次
設立(創業)	1918年 1908年
資本金	2,500万円
従業員数	61人



会社概要

1908年、日本画家考案の「おぼろ染技法（特許取得）」を柱にタオル製造会社を創業。織・加工・縫製の一貫生産体制を確立。細番手の“肌触りが良く、軽くて、絞りやすく、抜群の吸水性”の特長で愛用される。2015年に「新おぼろ染」の特許取得。その後、伊勢型紙とのコラボの「伊勢古式着物文様」が、2016年の伊勢志摩サミットで使用され、三重グッドデザインに選ばれる。2017年、軽量且つ吸水速乾に富む『おぼろ百年の極』（特許出願）を製品化。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 特長技術と地域の伝統技術等との融合によるオンリーワン商品

「伊勢古式着物文様」「おぼろ百年の極」などのオンリーワン製品は鈴鹿市の企業の協力の下、実現した。地域の特色を活かした高付加価値化の成果である。また、芍薬を活用する産官学の取組では、“芍薬ビジネス研究会”に加わり、活動の一つとして、戦略産業雇用創造プロジェクト「自動車内装部品（木綿）研究会」にて、松阪木綿及び伊勢木綿の芍薬抗菌加工開発を担当する。



オンリーワン商品

▶▶▶ 特許出願により商品の革新性を裏付け、第三者機関が品質保証

国内数少ない“織、加工、縫製”一貫生産体制とコア技術（おぼろ染め、ガーゼ織）を軸に置く商品開発。他産地と異なり、未晒の40番手以上の細い糸を使いが特長であるが、更に細い80番手のタオル（特許出願）を試作中。特許で革新性を裏付け、エコテックス及び日本アトピー協会推奨品等の第三者機関認証で、製品の安全・安心を保証する。また、京都工芸繊維大学の「やわらかさデザイン研究室」と、同社製品特長の“肌触り”の数値化に取り組む。



特許証・第三者機関認証

▶▶▶ 経営理念に掲げる「人に優しく、環境を配慮したものづくり」

問屋に依存する下請け的な業態であったが、自らが企画提案・販売する方向へと戻ることによって、社員の行動と意識が変わる。社員の後押しの下、この方向に事業運営の舵をきる。2013年度から、新卒者を2名程度ずつ採用。地元雇用で解雇はしない。また、社員を大切に出来るように、ワークシェアリングも導入している。「CO₂」移動量の少ない一貫生産体制を環境経営のメリットとし、ボイラー及び乾燥機等のガス化等で「CO₂」の削減に取り組む。



三重のおもてなし経営企業選

生産性向上

需要獲得

担い手確保

株式会社鹿の湯ホテル

三重県三重郡菟野町

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

三重県・湯の山温泉の魅力を海外へ向けて発信する「おもてなし」の湯宿

- 三重県の地域資源「まこも」を活用した観光メニューの開発により、地域活性化を図る取組を実施
- 多言語に対応したWEBサイト構築により、訪日外国人旅行者の獲得を考えている魅力的な事業者である
- ピュアキレイザーの導入により、泉質の向上とランニングコストの低減を実現している

企業基本情報

所在地	三重県三重郡菟野町大字菟野 8520-1
電話/FAX	059-392-3141/059-392-2207
URL	http://www.sikanoyu.co.jp/
代表者	代表取締役 伊藤 裕司
設立	1996年
資本金	2,000万円
従業員数	42人



会社概要

同ホテルは1963年に創業し、1998年に露天風呂を新設、2010年には客室の全面リニューアルをするなど、常に魅力あるサービスを提供し、顧客のニーズに積極的に対応できるように努めている。近年は高校新卒を中心に若いスタッフを積極的に採用。また、年々増加している訪日外国人旅行者向けに多言語WEBサイトを構築する等、日本国内の人口減少で国内旅行者のマーケットが縮小傾向にある中、海外市場の獲得に注力している。



ホテル外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 三重県の地域資源「まこも」を活用した観光メニューの開発

同社が所在する菟野町の町名由来のイネ科の植物「まこも」により地域活性化を図ろうと、生産者や温泉宿、飲食店などが、「まこも」を活用した特産品やメニュー開発に取り組んできた。そのような中、同社の若女将が「湯の山温泉女将の会きらら」において、まこも活用や体験型観光メニュー開発を推進。同社では、果実酢作りやアロマ作り、まこも刈り体験など体験メニューを豊富に取り揃え、温泉に加えて新たな魅力を提供し、2015年度には6つの体験メニューに約150人の参加を得た。



三重県の地域資源「まこも」

▶▶▶ 多言語対応のWEBサイト構築による訪日外国人旅行者の獲得

以前の同社のWEBサイトでは、外国語の表記は行っていなかったため、顧客が翻訳サイト等を利用し労力をかけて利用する状況にあったが、多言語のWEBサイトを構築し、旅行者が英語、韓国語、中国語、タイ語で同社の情報を閲覧できる環境を整えている。日本食、温泉湯宿、県内の観光スポットの魅力を多言語で発信する等の付加価値向上を目指す取組を行っている。リニューアル後は52カ国、1,591名から2,449回のアクセスがあり、延べ6,857ページが閲覧されている。



インバウンド対応の同社WEB

▶▶▶ ピュアキレイザーによる泉質の維持とランニングコストの低減

温泉旅館として湯の山温泉の効能を顧客が100%堪能できるサービスの実現のために、ピュアキレイザーを導入した。

これによるオゾン+紫外線+光触媒による促進酸化処理法によって効率的にレジオネラ菌等を除去することが可能であり、酸化力は塩素の20倍以上であるため、塩素の使用を大幅に低減させることができ、ランニングコストの低減にもつながっている。



ピュアキレイザー

生産性向上

需要獲得

担い手確保

株式会社渡辺製作所

岐阜県各務原市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

射出成形機・押出機部品のエキスパートとして、先駆的な技術をユーザーと共有・共通化することで顧客と共に成長発展する企業

- 職種を問わず現地・現物・現実を重視した情報の「見える化」を実施することで、自立型人材育成に成功
- 他社が敬遠する超大型スクリーウの製造や材料に応じた複雑形状スクリーウの製造技術を高度化
- 成形技術のコンサルテーション、サポート業務は他社が真似できない独自の競争優位性を持つ

企業基本情報

所在地	岐阜県各務原市鷺沼川崎町 2-143
電話/FAX	058-389-3701/058-371-1283
URL	http://www.watanabe-seisaku.com
代表者	代表取締役社長 渡辺 正彦
設立	1967年
資本金	900万円
従業員数	53人



会社概要

創業以来、射出成形機・押出機のスクリーウ、シリンダー、各種部品の設計・製造からメンテナンスまでを社内一貫体制で行っている。国内トップの設備力・生産力を有し、時流であるプラスチック製品の大型化、材料素材の複雑化にスピーディに対応してきた。スクリーウのエキスパートとして、成形機メーカーや国内外の樹脂製品製造業のものづくりを支えている。



左：複雑形状のスクリーウ
右：高度な切削加工技術を要する関連部品（逆流防止弁・ノズル等）

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

セクショナリズムを打破した人材育成を展開

製造部門の社員については、機会をみて営業担当やメンテナンス部門の社員と客先へ帯同訪問させている。自分が製造に携わった製品が、客先で活用されている状況を現地・現物で確認し、自身の仕事について社会への貢献度を認識してもらっている。また客先の生の声（ニーズ）を製造担当がダイレクトに収集することで、顧客対応が円滑に行われる。これらの取組を継続して行うことで社員のモチベーション向上と、自ら考え行動する自立型人材育成に繋がっている。



製造担当社員も積極的に客先へ出向き、ユーザーの現状を現地・現物で把握することで仕事へのやり甲斐を高めている

革新的な生産プロセス改善により低コスト化・短納期を実現

あらゆる業種のプラスチック成形部品は大型化・複雑化している。スクリーウ製品のユーザーである樹脂製品製造メーカーは国際価格競争下においてコスト削減は喫緊の課題となっていた。同社では客先のコスト・納期・品質の要求に対応するため、国内随一の大型スクリーウ加工機により、他社ができない超大型スクリーウの生産能力を向上させた。また多種少量のスクリーウ製造について設計から検査までを一貫生産できる強みがあり、低コスト・短納期を実現させ顧客から高い評価を得ている。



国内随一のワーリング方式大型スクリーウ加工機
超大型スクリーウ（外径φ220 全長6m）

トータルサポート体制が顧客からの信頼を勝ち得る

近年、プラスチックの役割が多様化し、樹脂にガラスやセラミック、炭素繊維等の異素材を混ぜるなど、使用される素材が複雑化している。同社は素材に応じて最適なスクリーウの形状を提案することに加え、スクリーウが最大限のパフォーマンスを発揮できるよう最適な成形条件についてコンサルテーションを実施している。ユーザーである樹脂製品製造メーカーに対して、セミナーを開催し成形不良のメカニズムを理解してもらい不良削減に自立的に取り組めるよう、フォロー体制を整えている。



ユーザーに対して樹脂加工のメカニズムを解説

生産性向上

需要獲得

担い手確保

株式会社エスケイワード

愛知県名古屋市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

トヨタカイゼン方式を IT 業界で取り入れ、オフィスの生産性向上と人材確保を実現

- 生産性向上と多様な働き方を認めたことにより、女性・外国人社員の採用・定着率が向上
- トヨタカイゼン方式導入による職場環境の改善、長時間労働の削減により、生産性を向上
- 日本人と外国人双方の目線を意識した顧客の情報発信を支援し、企業や地域資源のグローバル戦略を支援

企業基本情報

所在地	愛知県名古屋市東区泉一丁目 21 番 27 号 泉ファーストスクエア 9 階
電話 / FAX	052-953-7161 / 052-953-7163
U R L	https://www.skword.co.jp/
代表者	代表取締役 加藤 啓介
設立	1963 年
資本金	1,000 万円
従業員数	46 人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

翻訳サービスから、WEB サイトの企画・デザイン・構築、システム開発までをワンストップで提供。特に、世界 35 ヶ国語以上に対応可能な翻訳サービスに強みがあり、多様な人材の活用により、グローバルサイトの構築や SNS による情報発信まで、国内外のビジネス展開をトータルで支援する「多言語コミュニケーション支援会社」。特に管理に重点を置いたワークフローで、大規模案件に対応している。拠点は名古屋本社で東京にもオフィスを備えている。



会社内観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

職場環境整備・多様な働き方を認め、女性・外国人社員の確保

業界特有の勤務時間の不規則化・長時間労働が常態化し、女性・外国人社員が離職していたため、まず労働生産性を上げる方法を検討し、トヨタカイゼン方式等を活用した職場環境の改善を実施。オフィス環境の整備、長時間労働の削減、時短勤務等の多様な働き方を可能にしたことで、女性の育休復帰率及び社員の定着率の向上、外国人材の確保にも繋がった。また、社内外の勉強会を、社員に自発性を持たせて開催し、技術およびコミュニケーションスキルの向上を図っている。



多様な人材が働く職場

トヨタカイゼン方式等の導入によるオフィスの生産性向上

生産性の向上が困難な IT 業界において、トヨタカイゼン方式を導入。オフィス内の文房具削減から始め、フロアレイアウトの変更、書類・書籍整理へと展開していった結果、これまでボトルネックとなっていた個々人の業務の見える化と作業時間のムダの洗い出しに成功。管理職と社員の間で業務の荷重が把握でき、タイムリーな業務平準化が可能となった。改善活動を継続することで、残業時間が削減され、整理整頓を徹底することでムダなく業務遂行され、売上増にも効果あり。



カイゼン方式による共通備品の管理

外国人目線を加えたプロモーション等による地域の魅力発信

インバウンド戦略や訪日外国人の誘致等、海外からの需要獲得のため各地の多言語コミュニケーション事業を支援。日本人と外国人スタッフがチームを組み地域パートナーとして高品質な翻訳やプロモーション等を提供。昇竜道プロジェクトでは SNS の活用により 4 年間で 16 万人超のファンを獲得する等、留学生ネットワークを通じて地域の魅力を国内外に強く発信。また、津島市のユネスコ無形文化財 PR 事業では、海外から 4 つのクリエイティブアワードを受賞するなど地方創生に貢献。



地域資源の魅力情報発信サイト

佐藤工業株式会社

愛知県あま市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

後継者不在の中、外部から経営者を迎え企業 体質をより強化し、強みである自動車用 精密プレス加工の高品質・安定供給を継続

- 自動車向け重要部品のプレス加工で、高い品質要求にも対応し、今後検査の自動化も視野に展開
- 外部人材を活用した先進的な事業承継をきっかけに、企業体質を強化し黒字化を実現
- 独自の精密加工により高い品質と生産性を両立し、優位性のある事業環境の構築を実現

企業基本情報

所在地	愛知県あま市上菅津深見 48 番地
電話 / FAX	052-441-7771 / 052-441-7776
URL	http://www.sato-ind.co.jp/
代表者	代表取締役社長 植村 達司
設立	1939 年
資本金	2,880 万円
従業員数	110 人



会社概要

自動車オートマチックトランスミッションの重要部品で、トップシェアのプレート・バルブ・ボデーをはじめとする、高効率な生産と超精密加工を同時に実現する金属プレス加工メーカー。2015年には、3代続いた創業家の後継者が不在の中、サプライチェーンに影響を与えることなく、大手部品メーカーから転身した新たな人材を経営者として事業承継を実施。これを契機に、全社員が一丸となって、生産から財務まで様々な改善が進められ、収益面の安定とともに、成長・発展に向けた基盤を構築。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

自動車向け重要部品で、不良率 200 万分の 1 以上を達成しながら安定供給を実現

最も得意とする薄板形状のプレート・バルブ・ボデー（トランスミッションのオイルの流量を制御する部品）は、年間 2,000 万枚を超える量産品であるが、200 万分の 1 以上の極めて低い不良率も達成している。今後の生産量の更なる増加にも対応できるように、現在作業者の目視に頼っている外観検査を画像認識技術による自動化に取り組みしており、検査コストの大幅削減と生産能力の向上を同時に見込んでいる。



主力製品のプレート・バルブ・ボデー

新たな経営者と社員が一体となり、競争力を強化

後継者不在の創業家の依頼を受け、経営コンサル会社が全株式を取得・長期保有し、大手自動車部品メーカーの役員経験者を新社長とする事業承継を実施。承継後も安定的な製品供給と雇用を継続することで、取引先からも信頼を得ている。さらに、社長とコンサル会社から派遣された常駐の CFO、社員が一体となり、コストの徹底的な把握をはじめとする様々な社内プロジェクトを立ち上げ、経営・財務の見える化と改善に取り組み、2年間で売上 2割弱の増加と黒字化を達成している。



社員の頑張りに対し、年末に感謝会を実施

独自の精密加工により高い品質と生産性を両立し、優位性のある事業環境を構築

一般的には、薄板形状のプレス加工で板厚より小さな径の孔を打ち抜くことは、製品・金型双方の孔部分に荷重が集中するため金型部品の耐久性や成形性の面で難しいとされている。そうした中、同社は、板厚の半分以下の小さな径の孔を多数かつ複数の形状を順送プレスで加工する高い技術力を持つ。さらに、顧客の品質目標を満足しながら年産 2,000 万枚を超える生産性も両立し、高い優位性を持っている。



生産性の高い順送型プレスライン(400トン)

生産性向上

需要獲得

担い手確保

せせらぎ通り商店街

(せせらぎ通り商店街振興会)

石川県金沢市

インバウンド

地域協働

新陳代謝

生産性向上

ポイント

**30代前半の若手が会長に就任し組織が若返り。
従来のイメージを変化させて新たな顧客層・出店者の獲得に成功。**

基本データ

所在地	石川県金沢市長町
人口	約47万人(金沢市)
電話/FAX	076-231-0116 / 076-231-0131
URL	http://seseragi-st.com/
会員数	70名
店舗数	70店舗(小売業23店、飲食業47店)
商店街の類型	エリア価値向上型
主な客層	学生・若者、家族連れ(親子)/30歳代、40歳代

商店街概要

藩政期に武士が居住した長町武家屋敷に近く、古いまち並みの中を鞍月用水が流れる、中心部の商店街である。用水は平成8年から開渠化が進められ、伝統と景観に配慮した「石積み工」によって城下町金沢の景観を向上させる親水空間として整備された。

平成11年にこれら用水沿いが「せせらぎ通り」と名付けられたのを機に、周辺の商業者有志によるせせらぎ通り商店街が発足。割烹やフレンチ、イタリアン、ネパール料理、カフェやアンティーク雑貨など多彩な個人経営の店舗が立ち並び、新旧の店舗と用水の景観が調和した独特の雰囲気を持つ商店街である。

取組の背景

イメージはサラリーマン向けの「飲食の街」

平成11年に商店街組織を設立した当初は、構成店舗は約30店舗で、その大半が飲食店で占められていた。市中心部に位置するとはいえ、一本入った裏通りにあるため、当時はサラリーマンなどが夜の飲食を楽しむ「飲食の街」というイメージが強かった。加えて、北陸最大級の繁華街である片町をはじめ、市内でも数多くの飲食店がひしめき合う広大な飲食街エリアの一角に位置し、競合する店舗が多かった。サラリーマンが飲食をするだけでなく、家族連れなど様々な世代が楽しむことができる商店街にイメージアップを図りながら、知名度を向上させる取組が求められていた。

また、商店街は観光地である長町武家屋敷にほど近いが、その地理的な優位性を十分に生かし切れず、訪れる観光客にとっては目的地に向かうために通行する場所と化していたため、商店街内での滞在時間を増やし、区域内における観光客等による消費の取り込みが課題となっていた。



せせらぎ通り商店街とマスコットキャラクター「せさみイ」

取組の内容

組織の若返りを機に家族連れや若者にPR

初代会長が役員世代交代を決意し、平成22年に当時30代前半だった現会長をはじめ、組織の若返りを一気に進めた。

新体制になった商店街は、まず家族連れなど様々な世代が楽しむことができる商店街としてイメージアップを図るため、ホームページを開設。ブログやSNSで若い世代や広域に向けた情報発信に力を入れた。また、イベントでも商店街の魅力を発信するため、カップルなど若い世代をターゲットに、用水沿いにある縁結びの神社「貴船明神」にちなみ、華やかな花嫁行列や良縁成就などの願い事を笹舟に託して用水に流す「願い舟」、恋愛成就や開運・無病息災を願う「茅の輪くぐり」など多岐にわたるイベントが繰り広げられる「せせらぎ縁結びまつり」を開催し、「縁結びの街」としてPRを行った。

平成24年からは、地元高等専門学校、まちづくり研究会と連携し、個店の魅力を発信する「せせらぎ Marche (マルシェ)」を開催。個店が多彩な料理をふるまうほか、学生によるワークショップを実施し、親子連れにも楽しませている。

さらに、幅広い世代の認知度向上を図るため、平成25年からは震災復興支援をきっかけに、夕方から夜にかけて酒や自慢の料理をゆっくり楽しんでもらう「美酒 de Marche」を開催。区域内の地域資源を生かしつつ、多世代が参加しやすいイベントづ

りに尽力し続けている。



「せせらぎ縁結びまつり」の様子



高専と協力して製作した茅の輪

こうした戦略が実を結び、観光サイトや旅行雑誌などで商店街が取り上げられる機会が増え、通りには若いカップルや親子連れが散策する姿が目立つようになった。そうした商店街の雰囲気の魅力を感じた若手起業家たちの、アンティーク家具や生活雑貨、手作りアクセサリ、お香などの店舗出店が相次ぎ、それらの店舗で買い回りを楽しむ顧客層が商店街を訪れるという好循環が生まれている。現在商店街70店舗のうち29店舗が45歳未満の若手が経営する店舗となっている。

取組の成果

イベントでは若い店主らが賑わいの中心に

商店街のSNSのフォローアカウント数は現在約

1,200件で、商店街の固定ファンが獲得できている。

イベントは、役員間で協議し、年1回の大規模な催しではなく、年間を通じて訪れてもらえるように中規模の催しを年3～4回開催するよう工夫している。イベントの際には若い新規出店者やその知り合いなどの多彩な出店者が通り沿いにブースを出店しており、食事や買い物を楽しむ大勢の来場者で賑わっている。固定客だけでなく、通行する地元客や観光客も立ち寄り、魅力あふれる「個の集まり」として商店街をPRし、さらなる顧客獲得につなげている。



若い出店者を中心に企画したイベント（サンデーマーケット）

実施体制

イベント事業には、市からの助成金を一部活用しているほか、商店街のCMやパンフレット制作についても支援を受けている。

「せせらぎ Marche」の企画・運営は、すべて商店街の若手に任されており、地元の高等専門学校や製菓専門学校、まちづくり研究会や青年会議所等と連携しながら、業者に一任せず商店街や地域の人的ネットワークを活用して取り組み、他の商店街のイベントとの差別化を図っている。

キーパーソンからのコメント



せせらぎ通り商店街振興会
前列左より
会長 高崎 正剛
吉田 健朗
後列左より
川嶋 秀俊
塚本 美樹
森忠 典靖

商店街知名度向上に伴う人との縁

発足して20年が経たない商店街のため、知名度が低いと感じ、まずは「せせらぎ通り」を認識してもらうことが必要と考え、ホームページやSNS等の利用や若者に響くイベントを実施しました。その中で、商店街内の若手のネットワークができ、石川工業高等専門学校をはじめ様々な地域団体との連携に発展し、新たな人たちとのご縁が広がった結果、若者が楽しめる商店街としての知名度向上につながったと思います。

商店街の役割は経営支援と地域コミュニティ

商店街の役割は、個々のお店の売り上げや経営につながる活動を行うことです。特に、新しく出店した店舗が継続して営業を続けられるよう、商店街としても情報発信や悩み事相談ができる環境づくりをしていきたいと考えています。

また、商店街には、地域コミュニティを担う役割もありますので、今後もマルシェなどのイベントの開催を通じて、様々な人がつながる場として地域活性化につなげていきたいです。

金沢5タウンズ (金沢中心商店街まちづくり協議会)

石川県金沢市

インバウンド

地域協働

新陳代謝

生産性向上

ポイント

金沢の中心商店街が連携し、外国人観光客へのおもてなし体制を構築。
インバウンド戦略の策定でさらなる消費喚起を目指す。

基本データ

所在地	石川県金沢市高岡町
人口	約47万人(金沢市)
電話/FAX	076-224-8112 / 076-224-8113
URL	http://kanazawa5towns.com/
会員数	367名
店舗数	490店舗(小売業174店、飲食業120店、サービス業131店、金融業11店、不動産業2店、医療サービス業9店、その他43店)
商店街の類型	エリア価値向上型
主な客層	主婦、サラリーマン/40歳代、30歳代

商店街概要

香林坊、片町、豎町、柿木畠、広坂の5つの商店街が一体となり、「金沢5タウンズ」(KANAZAWA 5TOWNS)として、様々なサービスやイベントを企画、実施している。ファッションビルやデパートが建ち並び香林坊、飲食店を中心に多種多様なお店が軒を並べる北陸最大級の繁華街である片町、アパレル関係の店舗が建ち並びストリートカルチャーの拠点である豎町、地元食材を中心に取り扱ったバラエティ豊かな飲食店などが集積する庶民的な懐かしさが漂う柿木畠、伝統工芸と現代アートが薫る広坂といった、それぞれ特徴を持った町がタッグを組むことにより、金沢の中心街の個性を形作っている。

取組の背景

北陸新幹線開業を機に交流人口が拡大

金沢5タウンズでは、金沢駅前に大型専門店が開業したことや郊外量販店の乱立やネットショッピングの普及により商店街の客足の減少が進んでいる。若者や子育て世代などの消費旺盛な世代をまちなかへ誘客するほか、駅前との差別化を図りつつ、新しい客層を取り込んでいくことが長年の課題となっていた。

一方で、平成27年3月には北陸新幹線(長野ー金沢間)が開業し、全国からの交流人口が拡大。商店街に近接している兼六園の外国人入園者数は、平成27年に約29万人となり、平成24年と比べ2.56倍に急増した。

平成28年度に策定した「金沢5タウンズインバウンド戦略」では、外国人観光客の来店割合が2割以下の個店が94%で、外国人観光客の誘客に取り組みたい個店の割合は47%。商店街が一丸となって外国人観光客をターゲットとした受入体制づくりを進める必要があった。

取組の内容

3つのステップで訪日客の受入体制を整備

外国人観光客の利便性や安心感の向上、誘客への取組を、エリアとして次のとおり実施した。

ステップ1. 商店街の青年部・女性部が金沢市商店

街連盟と連携して研修・勉強会を実施。「インバウンド研修会」でインバウンドについての基礎知識を学んだほか、「おかみさん塾」と題した女性を中心とした勉強会では、英会話などテーマに沿って、販売員のコミュニケーション能力の向上に取り組んだ。

ステップ2. 平成28年2月に、中国の春節に合わせて、金沢在住の中国人留学生等による「5タウンズおもてなし隊」を結成し、中国や台湾の観光客にターゲットを絞り、5タウンズ内の商店街や大型店を紹介する取組を行った。おもてなし隊は、外国人観光客に人気のある和装を纏い、5タウンズの街並みや店舗を背景に一緒に写真撮影を受けることで、SNSを通じた誘客促進を図った。あわせて、外国人観光客が短時間で買い物しやすいように商店街MAPを作成したほか、外国人観光客と各店舗が円滑にコミュニケーションがとれるように、飲食店用・物販店用(2種類)の「接客用指差し案内シート」を作成するなど、独自の取組を実施した。



5タウンズおもてなし隊

ステップ3.平成28年11月からは、香林坊商店街・片町商店街・豎町商店街の3商店街の44店舗の免税手続きを一括で行える「免税手続きカウンター」を設置。一括手続きに参加できない既存の一般免税店や柿木畠振興会・広坂振興会の情報も含めた商店街の案内MAPやチラシも配置して「商店街インフォメーション」機能を付加し、5タウンズの回遊性向上と外国人観光客の来街促進に取り組んでいる。クルーズ船の入港時には、作成したMAPを市職員が配布するなど、市役所と連携した取組も実施している。



免税情報等を記載した
外国人観光客向け商店街MAP

免税手続きカウンター

平成30年には、「金沢5タウンズインバウンド戦略」に基づき、外国人観光客向けの講座や体験イベントを開催する予定である。

取組の成果

新たな取組を試行しサービス改善を目指す

「金沢5タウンズインバウンド戦略」では免税対応店舗数を数値目標に設定しており、平成28年12月の「物販店舗全体247店舗に対して39%(96店舗)」から、平成32年には「物販店舗の50%(123店舗)」が免税対応店舗になることを目指している。

また、平成29年1月には、5タウンズを中心と

したエリアで、商店街内のホテルを出発点とした、にし茶屋街の芸妓案内のバスツアー「夜のまちなかめぐり」を試行的に実施。外国人観光客の利用時には通訳案内士による対応を行い、参加者には5タウンズ内の店舗で様々なサービスが受けられるスペシャルクーポンを配布し誘客に取り組んだ。試行を踏まえて、平成29年度以降は内容を見直し、コースも追加して実施する予定だ。



夜のまちなかめぐり

実施体制

ワンコインバス「まちバス」などを手掛けるまちづくり会社である株式会社金沢商業活性化センターが、協議会の事務局となっており、事業の継続体制が整っている。

インバウンド事業については「金沢5タウンズインバウンド戦略」に基づき、定期的に国・市、まちづくり会社がオブザーバー参加し検証会を実施。また、主要施策として、イベント開催や個店の接客・販売力の強化、ショッピング環境の整備(外国人観光客に分かりやすい表示・サインの設置)などを掲げており、計画に沿って事業を進めていくほか、市の「金沢市観光戦略プラン2016」(平成28年～平成32年)との連携・整合性を図り、市と連携したプロモーション事業も実施していく。

キーパーソンからのコメント



写真左より
株式会社金沢商業活性化センター
ゼネラルマネージャー
高本 泰輔
金沢中心商店街まちづくり
協議会
会長 諸江 洋
戦略委員長 小間井 隆幸

エリアとして新しい取組を展開

外国人観光客が増加する中、個店ではなくエリアで何ができるのかを模索しました。免税手続きカウンターの利用可能な商店街は5タウンズのうち3つという壁がありましたが、エリアで行うことを重視し、5タウンズ全体を免税おもてなしエリアとする決断をしました。

今あるもので何ができるかを真剣に考え、その中でまず試行をして手ごたえや効果を見せることで、各個店に理解してもらい、エリアの連帯感向上を図りました。

5タウンズを更に魅力あるエリアに

金沢のインバウンド客はリピーターが中心です。安心して買い物ができる、エリア全体で外国語対応や免税等が受けられる、そんな環境をおもてなしとしてさりげなくできるのが、5タウンズの魅力だと考えています。

再び金沢に来てもらうには、買い物を楽しんでいただき、金沢の歴史・文化に触れていただくことが重要で、そのためにも体験プログラム、ツアーの拡充等を行い、エリアの魅力を更に高めていきたいです。

山代温泉通り商店街

(山代温泉通り商店街振興組合)

石川県加賀市

インバウンド

地域協働

新陳代謝

生産性向上

ポイント

観光客向けの付加価値向上プログラムと ICT 利活用による情報発信・データ分析で効率的な顧客獲得・消費喚起に挑戦。

基本データ

所在地	石川県加賀市山代温泉温泉通
人口	約 7 万人 (加賀市)
電話/FAX	0761-76-1176 / 0761-76-1176
URL	http://www.yamashiro-spa.com/onsendori/
会員数	42 名
店舗数	25 店舗 (小売業 12 店、飲食業 4 店、サービス業 5 店、金融業 2 店、その他 2 店)
商店街の類型	観光型
主な客層	国内観光客、主婦 / 50 歳代、40 歳代

商店街概要

山代温泉の中心には、歴史的まちなみとして再生された「湯の曲輪 (ゆのがわ)」と古総湯・総湯の 2 つの公衆浴場、魯山人寓居跡いろは草庵等があり、山代温泉通り商店街はその古総湯から山代温泉東口方向へ 1 商店街 (約 150 m) を挟んだところに位置する。

来街者は、以前は関西・中京圏からの観光客が多かったが、北陸新幹線開業後は関東圏からの来訪が増加。外国人来街者も平成 23 年以降増加傾向にあり、特に新幹線開通後は前年対比 15%以上増加している。内訳は、アジア圏 (台湾・韓国・中国・香港他) 80%。中でも特に台湾が多数を占めるが、ここ数年は米欧州圏が増加している。

取組の背景

「これからの山代」を考える勉強会

北陸新幹線開業の効果もあり、地域には年間 80 万人の観光客が訪れていたが、当商店街ではほとんどの店舗が地域住民を対象とした品揃えになっており、観光客の取り込みにはつながっていなかった。さらに、商店街のイベント情報が観光客へ届いていない、観光客がまちなかに出て目当てのイベントや個店での対応ができていないなど、情報発信やおもてなしの面でも課題が生まれていた。

この状況を踏まえ、平成 28 年度には、商店街を中心に組織の枠組みを超えた若手メンバーで加賀山代塾を開催し、「これからの山代」とそれには何が必要か考える勉強会を 6 回開催し、地域のビジョンを検討した。

その結果、旅館や観光協会等と連携し、観光客がまちあるきをしたくなる魅力ある個店づくりや統一的な情報発信の実施、受入環境の構築、人材育成を進め、積極的に観光客を取り込み、域外の消費拡大を図っていくこととし、議論の場としてまちあるき部会を設けた。



商店街の様子



加賀山代塾の勉強会の様子

取組の内容

ICT の活用で情報発信・データ分析に挑戦

当エリアでは、平成 26 年から、地域資源×商店×地域住民で、賑わい創出とまち・ひとの活性化へつなげるまち塾 (まちなか商店学習塾) が実施されてきた。山代温泉通り商店街では「温泉・観光 (観光客)」を地域資源と捉え、「観光と共存する商店街」をテーマに付加価値向上の取組に着手することとなった。

平成 28 年度は温泉旅館と連携し、少しでも多くの観光客に商店街を訪れてもらうことを目的に観光客が参加可能なプログラムを実施。具体的には、観光協会と連携し、商店街の個店の店舗内に九谷焼きミニギャラリーを併設し、観光協会発行のパンフレットでスタンプラリーを実施する「九谷焼きミニギャラリーめぐり」や、観光客がクーポンを購入することで店舗のメニューを低価格で購入、複数店舗で利用で

きる「スイーツ食べ歩きクーポン、まち飲み歩きクーポンイベント」を開催。商店街の回遊性や来店率の向上につなげている。

また、商店街へのさらなる回遊性向上のためには、現在各団体や各店舗が個々に行っているイベント等の情報を観光客がリアルタイムで一元的に入手できるICT利活用による仕組みの構築が必要であると考え、情報発信プラットフォームアプリ「きてねっと」を導入。15カ国語リアルタイム翻訳機能を付加することで、外国人観光客にも対応できる体制を整えた。

「きてねっと」の導入に当たっては、若手世代を中心とした勉強会等を開催し、個店や地元の人しか知らないお得な情報等を各々が投稿することで、商店街を中心とした情報を一括して観光客に発信。観光客にとっての情報源のひとつであるSNSへの展開につなげている。

今後はこの仕組みをさらに活用し、「きてねっと」により得られるイベント、観光情報等のデータを分析し、国別アクセス等をフィードバックすることで、各店の売上向上につながる取組を進めていく予定だ。



「きてねっと」のメニュー画面と店舗情報（英語版）



「きてねっと」で配信しているイベント（アートイベント）

が一体となって観光客に対し一元的に着地情報を発信する事で、旅館のチェックイン前、チェックアウト後のまちあるきや夜歩きを促すことができている。また、タイムリーな告知により現地での開催イベントが周知できるため、商店街単独ではなく、他のイベントと連動することやより広い連携のイベント等を効率的に実施することが可能になっている。

また、ICTを利活用した各店舗ごとの誘客展開や、デジタルマーケティング分析が可能になるため、今後も引き続き若手中心の勉強会を開催し、活用後の取組を具体化していく予定だ。

さらに、まち塾については、平成28年度までは石川県中小企業団体中央会からの支援によりアドバイザーを活用し実施していたが、平成29年度からは商店街単独予算で自立事業として中央会と連携しながら実施していくことを検討している。

実施体制

加賀市とは、商工振興・観光振興の両面で連携する相互協力体制を整えており、市の広報誌やホームページにて情報発信している。併せて観光協会や商工会議所との連携した取組により、実施体制の強化、継続した取組の展開につなげている。

また、山代温泉通り商店街単体ではなく、商店街の枠組みを超えた若手を集めて取組を行うことで将来的な事業の継続・広がりにつながると考えていることから、若手メンバーによる勉強会は今後も継続していく予定。加賀山代塾を開催したことで、平成29年度には地域空間を活用するための若手による新しい組織「YOU・湯・遊」が立ち上がり、地域一体となった取組をさらに推進していく体制ができたところである。

取組の成果

地域一体となった取組で誘客を促進

アプリ導入により地域（旅館、観光施設、商店街）

キーパーソンからのコメント



山代温泉通り商店街振興組合
前理事長 須谷 祐二（左）
理事長 下達也（右）

来街者に「商店街の力を見せつけたい」

以前は当地域の団体がバラバラに活動し、商店街でも横のつながりがなく、商店街活動の話ができる相手も場もない状態でした。

まちあるき部会を機に、現場のアツい人たちが集まり、自由に意見が言える場ができてからは、「商店街の力をみせつけよう」と1人1人の意識が変わっていききました。現在は、商店街の枠組みを超えたメンバーが集まり、活動の枠も広がっています。

今後も新しい取組を模索していく

若手を中心に結成した「YOU・湯・遊」は、山代を良くするために「自分はどうしたいのか」を発言し、皆で考える場となっています。呉服店がまちあるき部会で悩みを相談し、レンタル着物を始めたように、周囲に思いが伝われば、それぞれの得意分野が融合し、新たな取組が生まれると思っています。

今回導入したアプリもゴールではありません。データを分析し商店街の売上向上につなげたいし、これに拘らず、良いものがあればどんどん取り入れたいです。